

令和4年度 ヤングケアラーに関する実態調査
報告書

目次

I. 調査概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	
3. 調査方法	
4. 調査期間	
5. 調査結果利用上の注意点	
II. 調査結果	
1. 基本情報	
(1) 性別	2
(2) 家族構成	3
(3) 健康状態	5
2. ふだんの生活について	
(1) 学校への通学状況	
(2) 部活動（学校外での活動を含む）への参加状況	8
(3) ふだんの学校生活であてはまること	9
(4) 現在の悩みごと	10
(5) 悩み事について話を聞いてくれる人の有無	12
3. 家庭や家族のことについて	
(1) 世話をしている家族の有無	14
(2) 世話を必要としている家族	15
(3) 父母の状況	16
(4) 祖父母の状況	17
(5) きょうだいの状況	19
(6) その他家族の状況	20
(7) 世話の内容	
(8) 世話を一緒にしている人	24
(9) 世話を始めた年齢	26
(10) 世話をしている頻度	27
(11) 平日1日あたりの世話に費やす時間	28
(12) 世話をしているためにやりたいけれどできないこと	29
(13) 世話の大変さ	30
(14) 世話について相談した経験	31
(15) 世話についての相談相手	33

(16) 世話について相談したことがない理由-----	34
(17) 世話について話を聞いてくれる存在の有無-----	35
(13) 学校や大人にしてもらいたいこと-----	37
(14) 代行を希望する家族の世話-----	39
4. ヤングケアラーについて	
(1) ヤングケアラーの自覚-----	40
(2) ヤングケアラーの認知度-----	41
(3) ヤングケアラーの認知方法-----	42
(4) ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや要望等 (自由意見) -----	44
5. 今後の課題（富山国際大学子ども育成学部 相山 馨教授）-----	45
Ⅲ. 参考資料	
1. 調査票-----	48

I. 調査概要

1. 調査の目的

富山県内におけるヤングケアラーの実態調査により、ヤングケアラーの認知度を高め、理解を深めるとともに、本県のヤングケアラーの傾向を把握し、今後の施策に反映させることを目的とする。

2. 調査対象

県内すべての中学校2年生、高校2年生（定時制を含む）に調査を実施

※中学2年生 88校（8,699人）、高校2年生 59校（8,615人）、定時制高校2年生 8校（396人）

3. 調査方法

各学校において対象者に調査依頼文を配布。

対象者は、依頼文に記載されたQRコードからWebにより回答（任意）。

4. 調査期間、有効回収数（回収率）

調査期間は、令和4年9月23日～10月21日として実施し、有効回収数（回収率）は中学2年生 1,227件（14.1%）、高校2年生 1,974件（22.9%）、定時制高校2年生 29件（7.3%）であった。

5. 調査委託機関

「令和4年度ヤングケアラーに関する実態調査」、本報告書の作成は、株式会社ジェック経営コンサルタントへの委託により実施した。

6. 調査結果利用上の注意点

- ・ 本調査は、個人情報保護のため無記名で行った。
- ・ 回答間で矛盾が認められる場合があるが、回答内容を尊重し、論理的な矛盾を正すための修正は行っていない。
- ・ 図表中に示す『N』は、比率算出上の基数となる総数（標本数）を示している。
- ・ 回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、単一回答の設問の各選択肢の回答に関する数値の合計が100%にならない場合がある。
- ・ 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100%を超える場合がある。
- ・ 「定時制高校2年生」については、回答数が29件と少数であったため、参考値とする。

Ⅱ. 調査結果

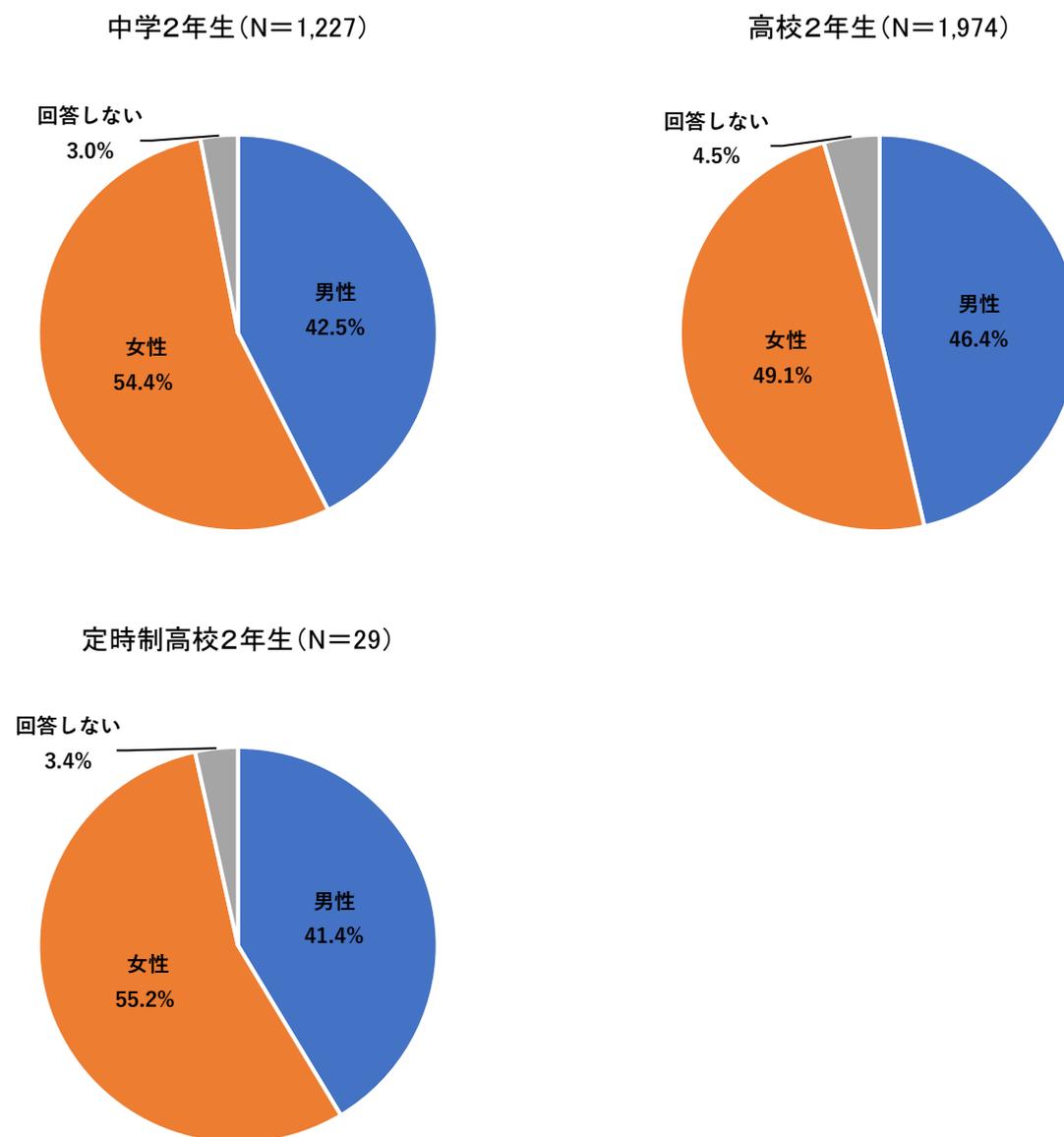
1. 基本情報

(1) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。(S A)

回答者の性別は、以下の通り。

図. 回答者の性別



(2) 家族構成

問4① 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(MA)

家族構成は、富山県、全国のすべての学年で「母親」が最も高く、次いで「父親」が高くなっている。

図. 家族構成(富山県)

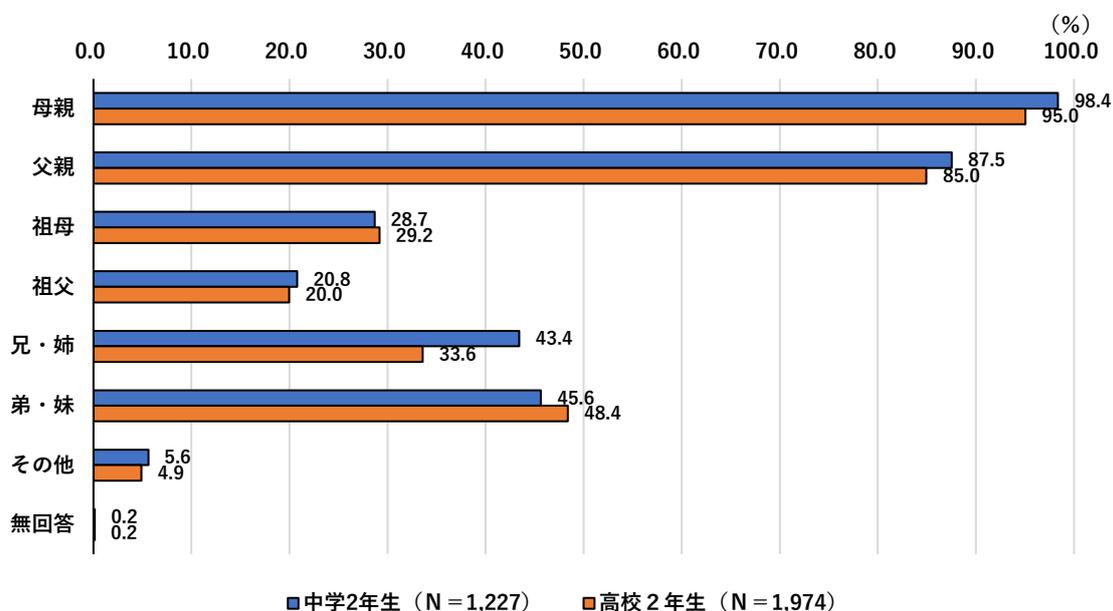


図. 家族構成(全国)

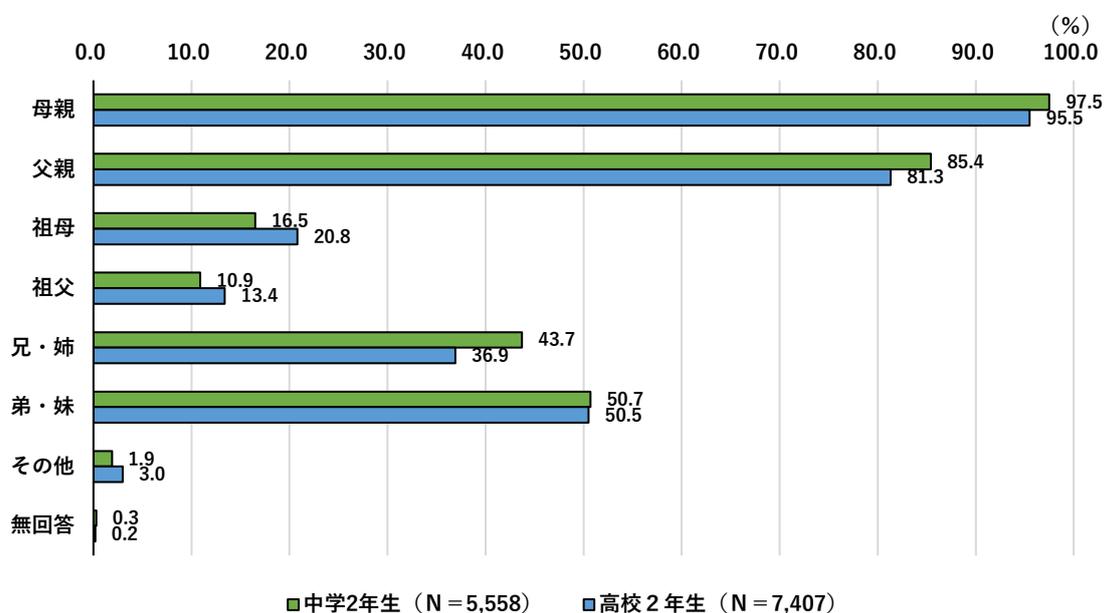


表. 家族構成(定時制高校2年生)

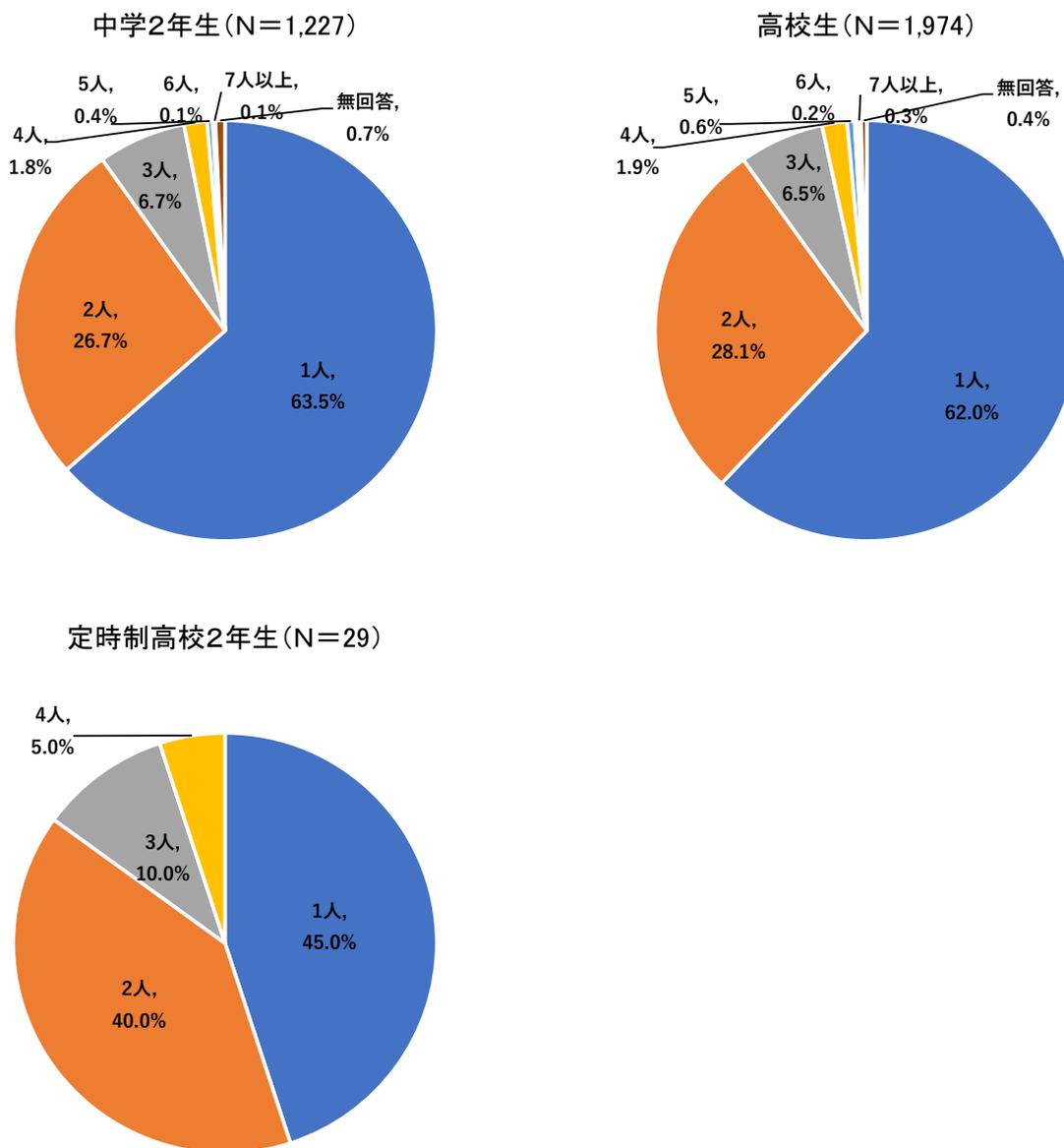
	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	89.7	86.2	41.4	24.1	48.3	34.5	3.4	0.0
全国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	94.3	72.7	18.6	10.7	39.1	48.1	3.8	0.3

【問4①で「5. 兄・姉」「6. 弟・妹」と回答した方にお聞きします。

問4② 何人ですか。(SA)

きょうだい(兄弟姉妹)の人数が「1人」と回答した割合は、県中学生、県高校生ともに6割程度に及ぶ。

図. きょうだいの人数(富山県)



(3) 健康状態

問5 あなたの健康状態について教えてください。(SA)

健康状態が「よい」と回答した割合は、県中学生が60.9%（全国56.7%）、県高校生が45.3%（全国44.9%）となっており、全国調査と比べていずれも高くなっている。

図. 健康状態(富山県)

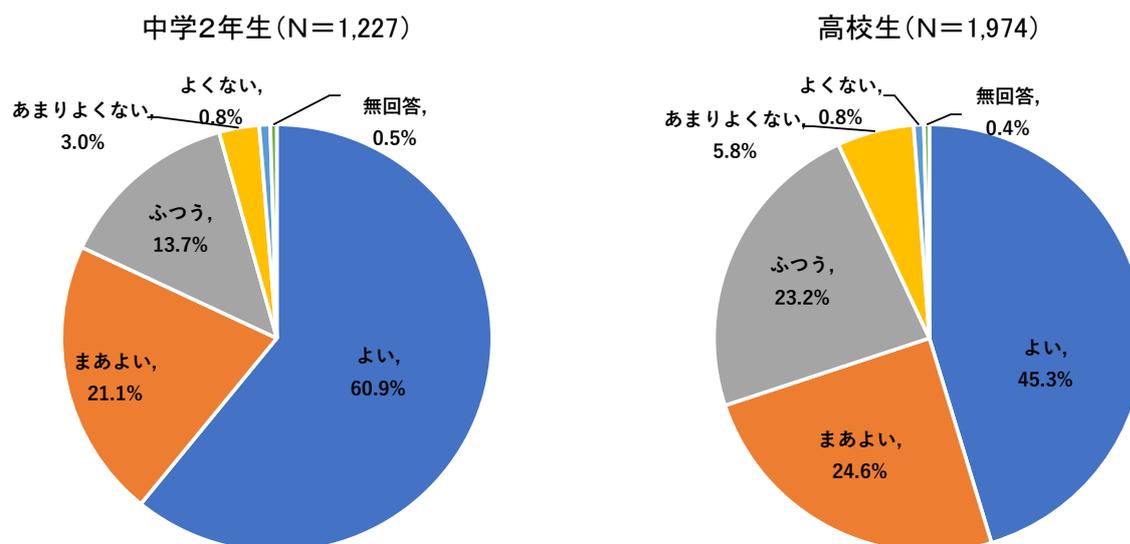


図. 健康状態(全国)

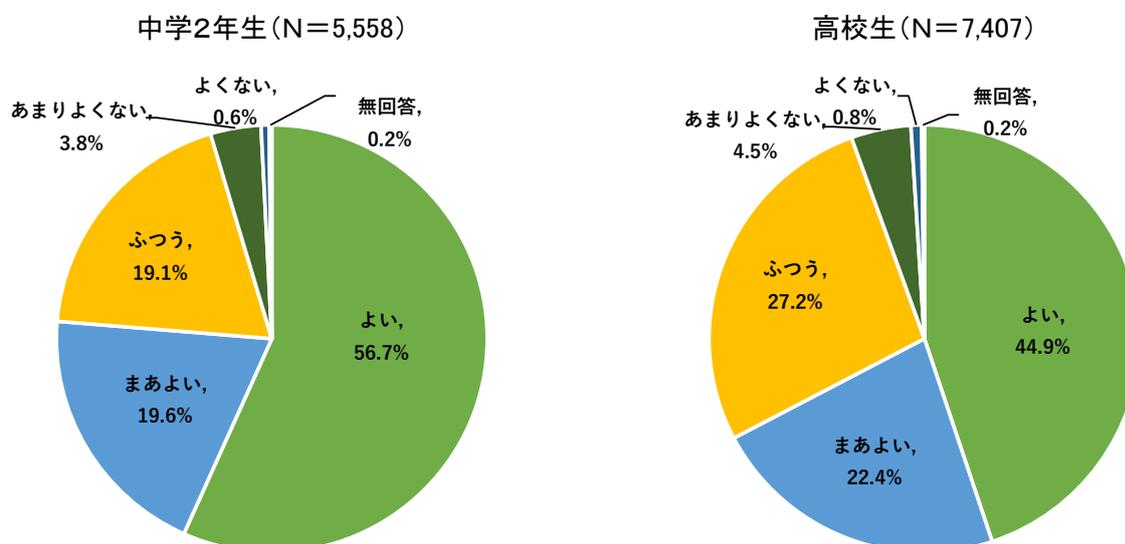


表. 健康状態(定時制高校2年生)

	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=29)	51.7%	17.2%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全国：定時制高校2年生相当 (N=366)	35.5%	18.0%	37.2%	7.4%	1.9%	0.0%

2. ふだんの生活について

(1) 学校への通学状況

問6 学校への通学状況等について教えてください。(S A)

① 出席状況

学校への出席状況について「ほとんど欠席しない」と回答した割合は、県中学生が86.6%(全国82.7%)、県高校生が81.9%(全国74.3%)と県調査では中学生、高校生ともに8割以上に及び、全国調査と比べていずれも高くなっている。

図. 学校への出席状況(富山県)

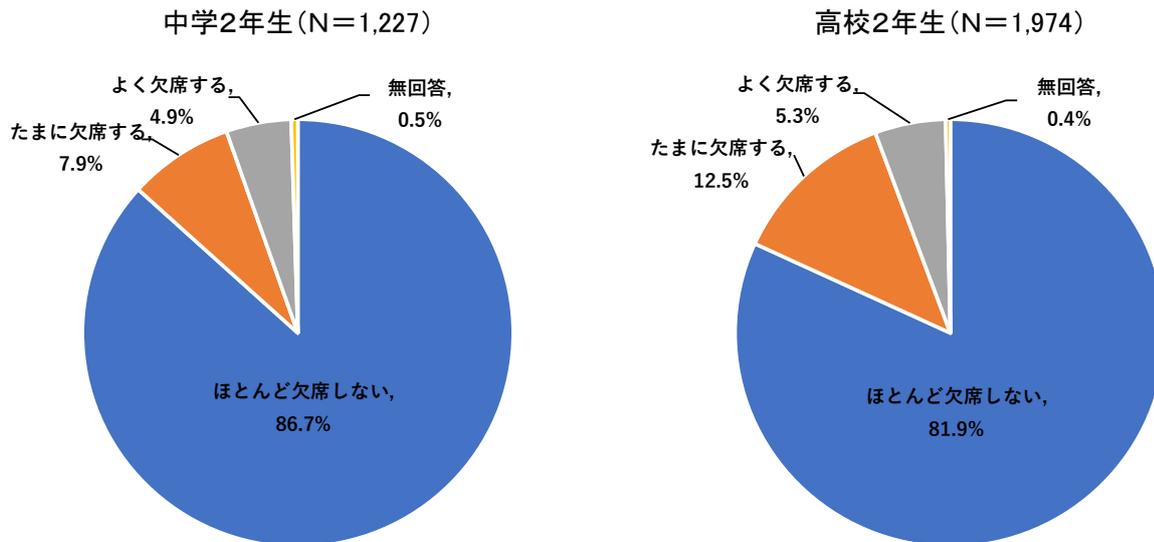


図. 学校への出席状況(全国)

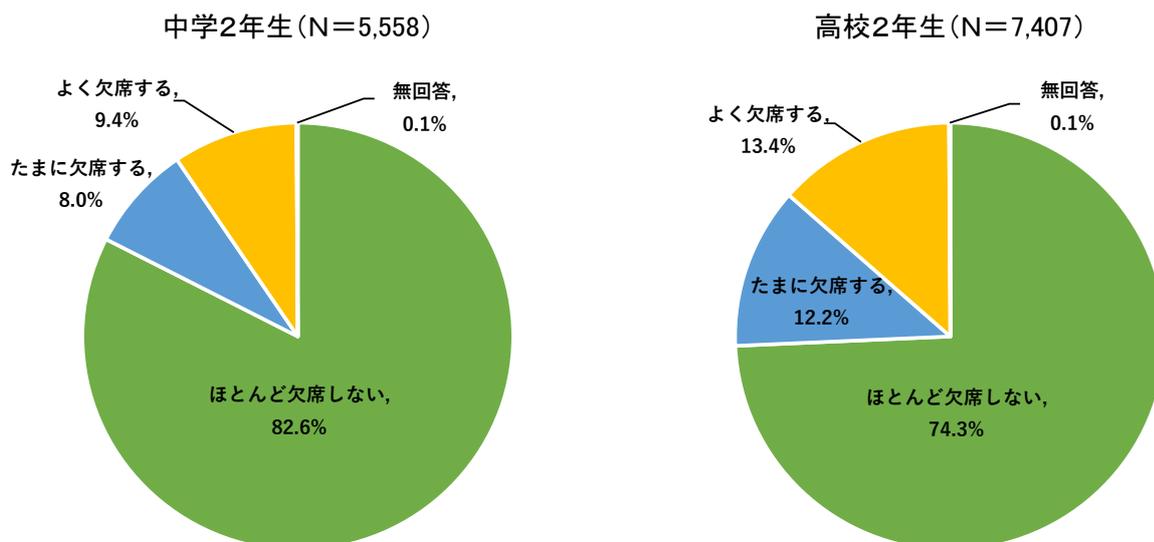


表. 学校への出席状況(定時制高校2年生)

	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	62.1%	27.6%	10.3%	0.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	55.7%	24.6%	19.7%	0.0%

② 遅刻や早退の状況

学校への遅刻や早退の状況について「ほとんどしない」と回答した割合は、県中学生が 91.1%（全国 88.8%）、県高校生が 88.2%（全国 83.5%）と県調査では中学生、高校生ともに 9 割前後に及び、全国調査と比べていずれも高くなっている。

図. 学校への遅刻や早退の状況(富山県)

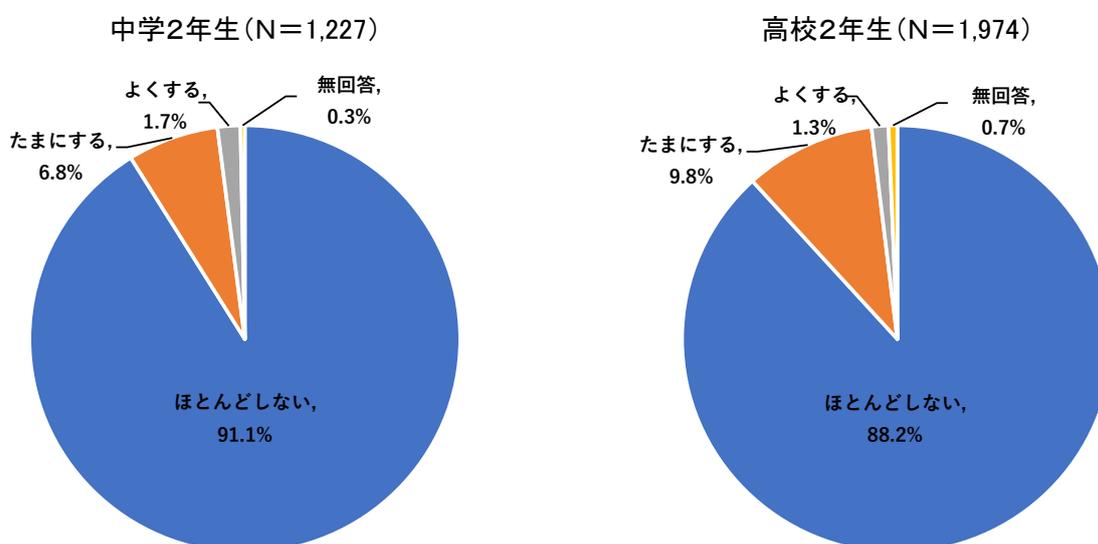


図. 学校への遅刻や早退の状況(全国)

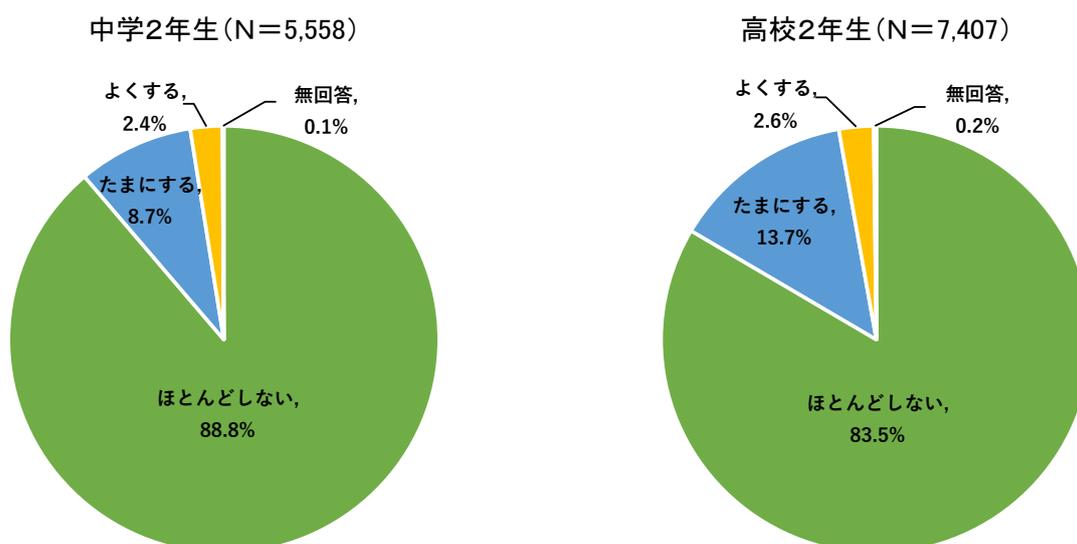


表. 学校への遅刻や早退の状況(定時制高校2年生)

	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	65.5%	31.0%	3.4%	0.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	60.1%	31.4%	8.5%	0.0%

(2) 部活動等(学校外での活動を含む)への参加状況

問7 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(SA)

部活動等への参加状況について「参加している」と回答した割合は、県中学生が93.7%(全国87.9%)、県高校生が79.7%(全国74.1%)と県中学生は9割程度、県高校生は8割程度に及び、全国調査と比べていずれも高くなっている。

図. 部活動等への参加状況(富山県)

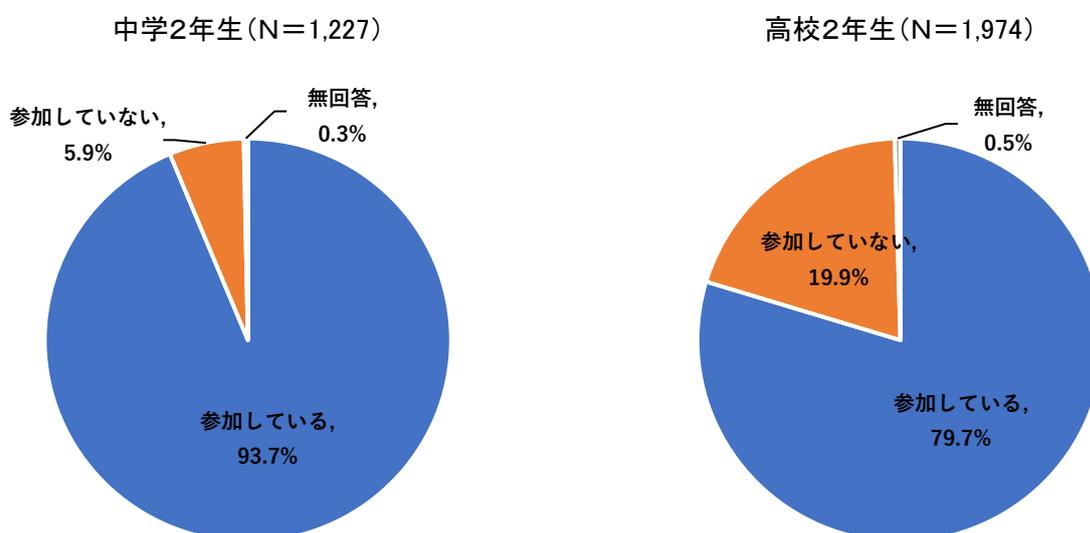


図. 部活動等への参加状況(全国)

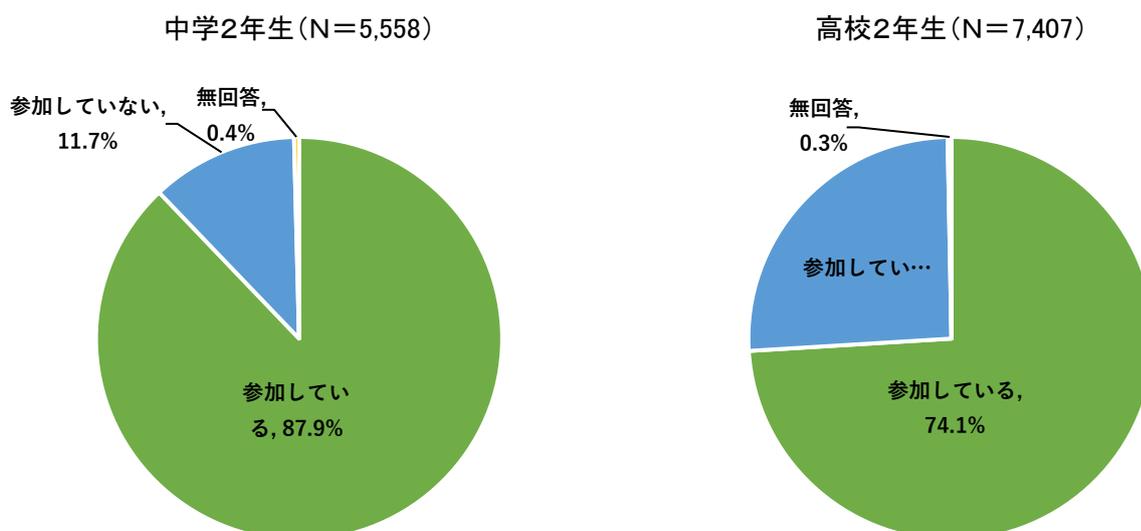


表. 部活動等への参加状況(定時制高校2年生)

	参加している	参加していない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=29)	62.1%	37.9%	0.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N=366)	42.3%	57.1%	0.5%

(3) ふだんの学校生活であてはまること

問8 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(MA)

ふだんの学校生活などであてはまることについては、県中学生では「特にない」が57.4%(全国62.7%)、県高校生では「授業中に居眠りすることが多い」が40.5%(全国では「特にない」が42.9%)と最も高くなっている。

県中学生では、「持ち物の忘れ物が多い」(17.9%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(17.8%)、「宿題や課題ができていないことが多い」(17.2%)が他に比べてやや高くなっている。

県高校生では、「特にない」(39.0%)、「宿題や課題ができていないことが多い」(22.6%)が他に比べてやや高くなっている。

図. 普段の生活で当てはまること(富山県)

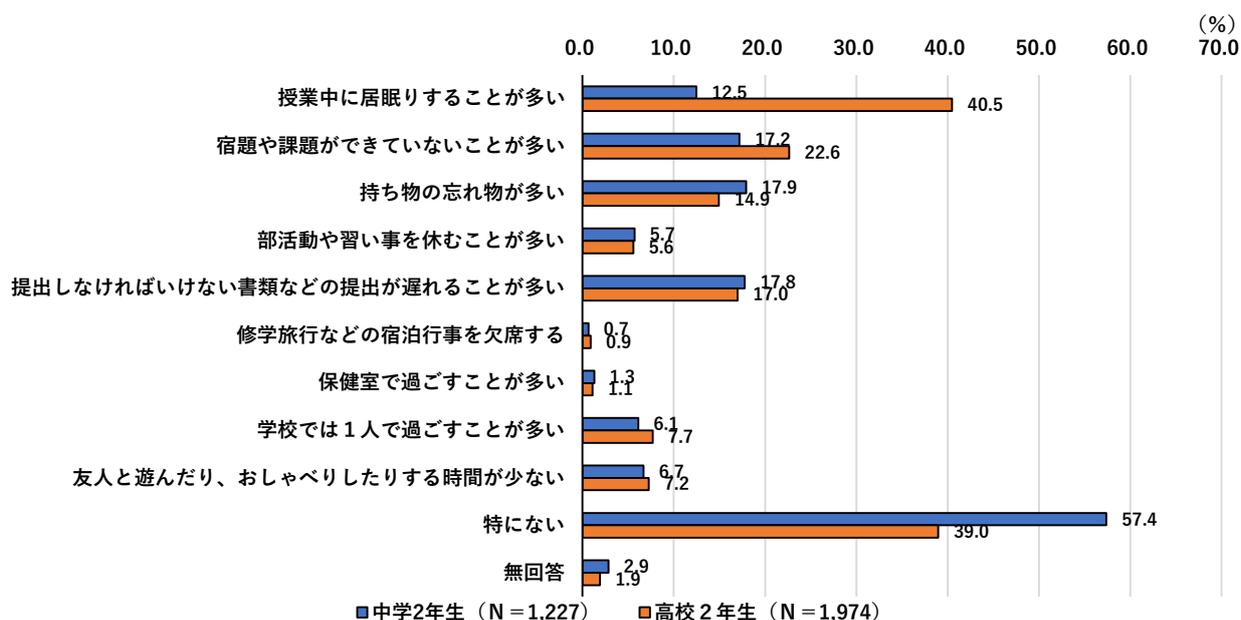


図. 普段の生活で当てはまること(全国)

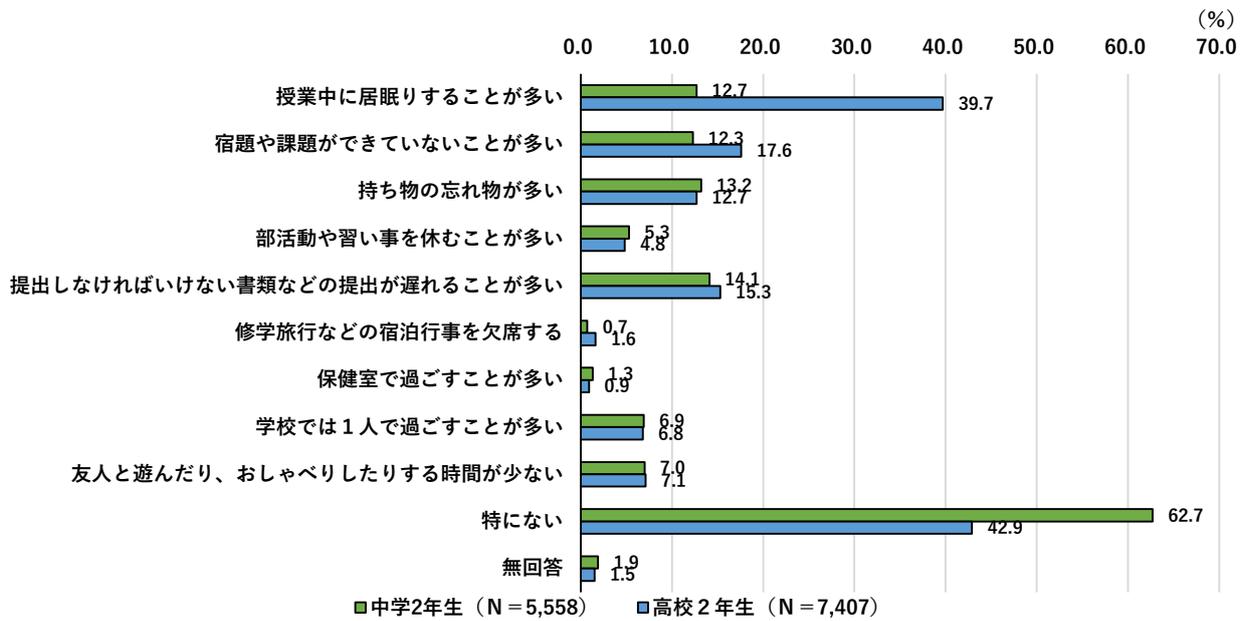


表. 普段の生活で当てはまること(定時制高校2年生)

	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出が遅れることが多い	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=29)	27.6%	31.0%	17.2%	10.3%	27.6%	3.4%	6.9%	20.7%	13.8%	41.4%	0.0%	
全国：定時制高校2年生相当 (N=366)	35.0%	19.1%	15.0%	8.5%	20.2%	2.7%	1.6%	14.5%	13.9%	37.4%	0.5%	

(4) 現在の悩みごと

問9 現在、悩んだり困っていることはありますか。(MA)

現在の悩みごとについては、県中学生では「特にない」が 49.6% (全国 41.0%)、県高校生では「進路」が 44.8% (全国 53.7%) が最も高くなっている。

県中学生では、「学業成績」(31.1%)、「進路」(28.8%) が他に比べてやや高くなっている。

県高校生では、「特にない」(36.2%)、「学業成績」(35.9%) が他に比べてやや高くなっている。

図. 現在の悩みごと(富山県)

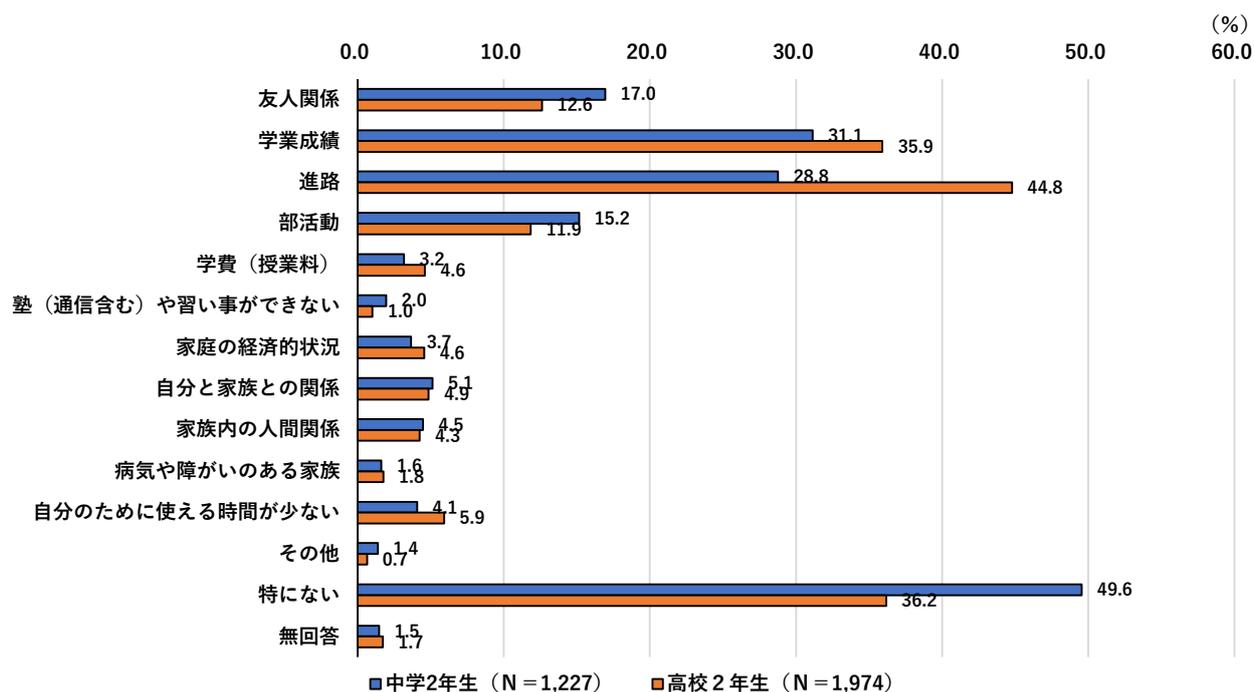


図. 現在の悩みごと(全国)

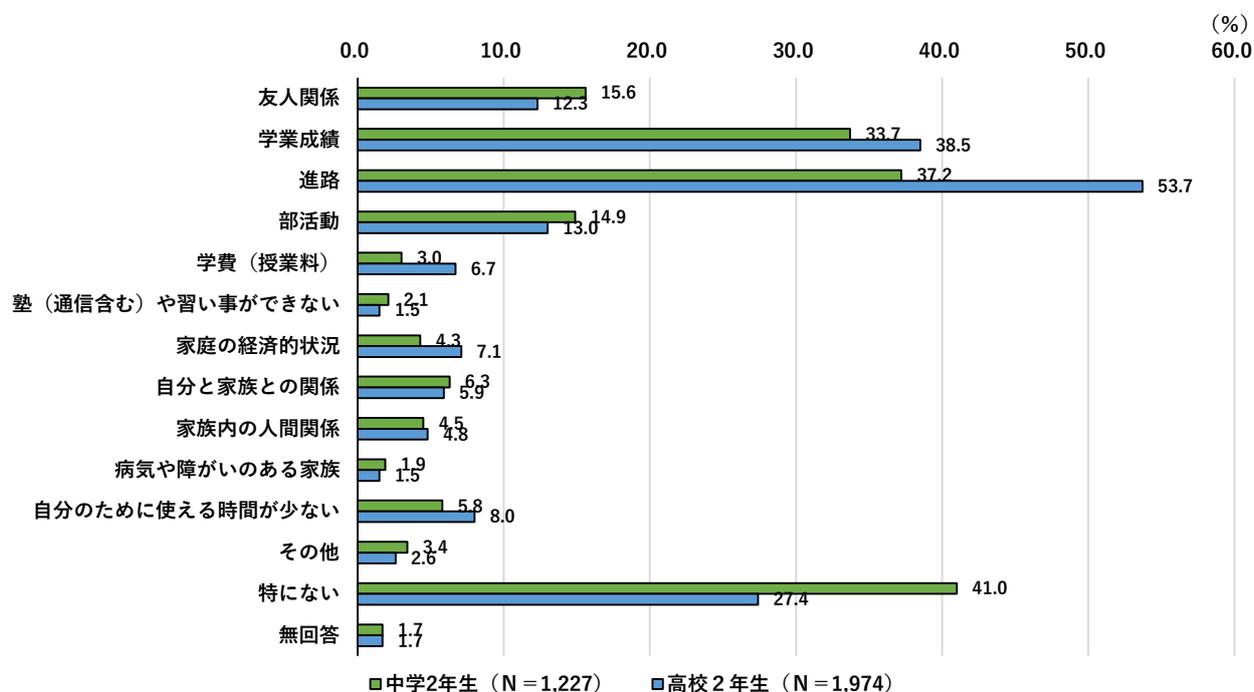


表. 現在の悩みごと(定時制高校2年生)

	友人関係	学業成績	進路	部活動	学費(授業料)	塾(通信含む)や習い事	家庭の経済状況	自分と家族との関係	家族内の人間関係	病気や障がいのある家族	自分のために使える時間が少ない	その他	特にない	無回答
富山県: 定時制高校2年生相当 (N=29)	6.9%	27.6%	44.8%	10.3%	3.4%	3.4%	10.3%	20.7%	10.3%	0.0%	6.9%	3.4%	44.8%	0.0%
全国: 定時制高校2年生相当 (N=366)	16.4%	29.0%	54.1%	6.3%	10.4%	1.6%	12.3%	10.1%	8.7%	3.0%	6.3%	3.6%	28.4%	1.6%

(5) 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

【問9で「12. 特にない」と回答した方以外にお聞きします。】

問10. 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。
(S A)

前問(問9)で何らかの悩みごとがあると回答した方に、話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、県中学生では「いる」が43.3%(全国72.4%)、県高校生では「いる」が46.0%(全国74.6%)と最も高くなっている。一方で、「話したくない」と回答した割合は、県中学生が17.3%(全国22.6%)、県高校生が13.2%(全国19.9%)となっている。

※県調査では、無回答が県中学生で36.2%(全国0.5%)、県高校生で36.5%(全国0.5%)となっている。

図. 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無(富山県)

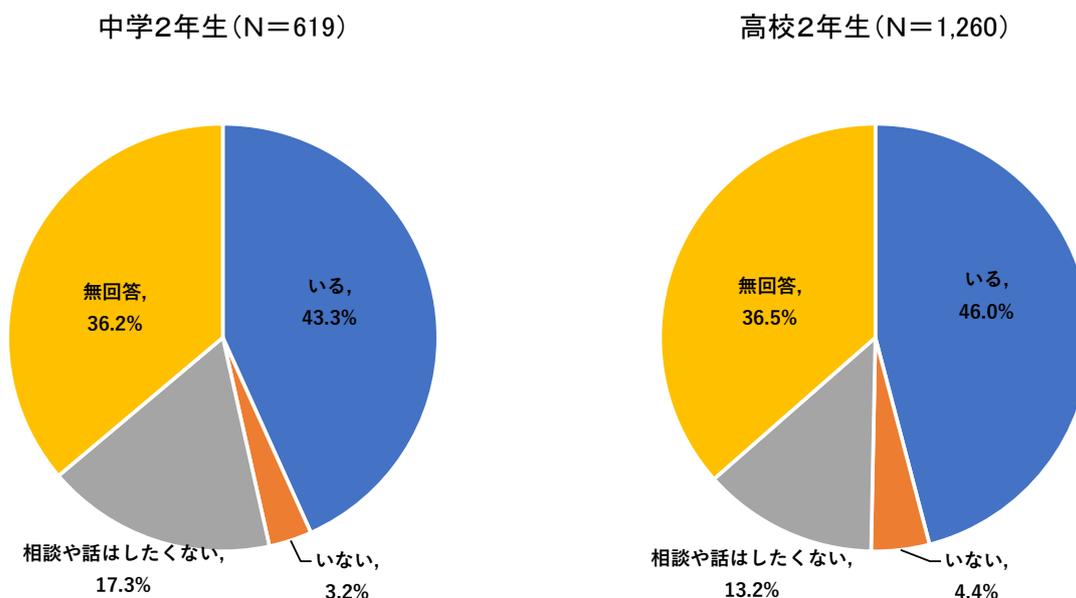


図. 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無(全国)

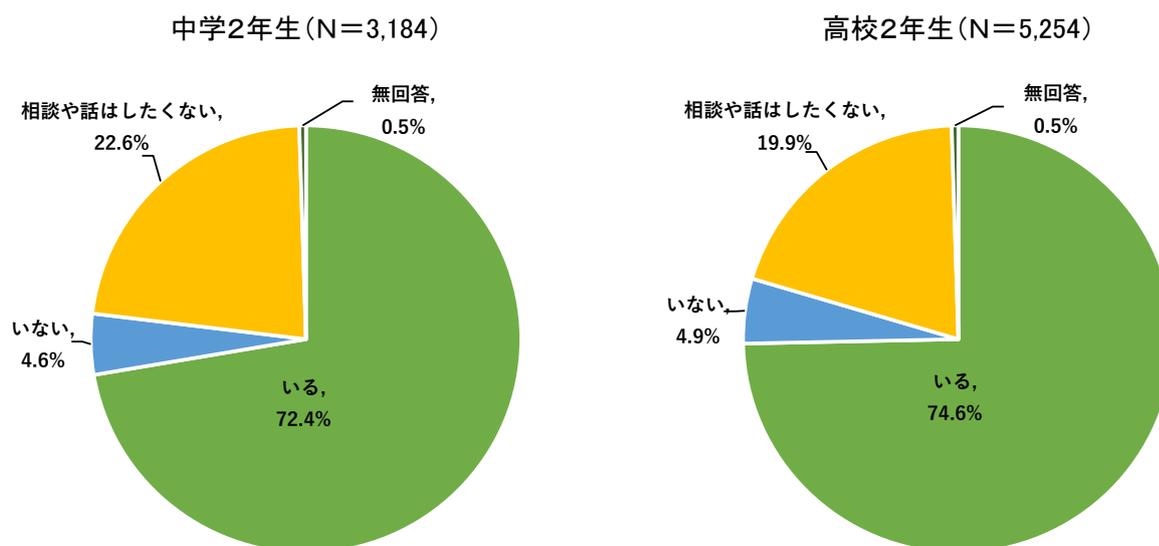


表. 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無(定時制高校2年生)

	いる	いない	相談や話はしたくない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	37.5%	6.3%	18.8%	37.5%
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	67.6%	7.4%	24.2%	0.8%

3. 家庭や家族のことについて

(1)世話をしている家族の有無

問 11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか(ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)(S A)

世話をしている家族の有無については、県中学生では5.5% (全国5.7%)、県高校生では4.2% (全国4.1%) の回答者が「いる」と答えており、全国調査と同様の結果となっている。

図. 世話をしている家族の有無(富山県)

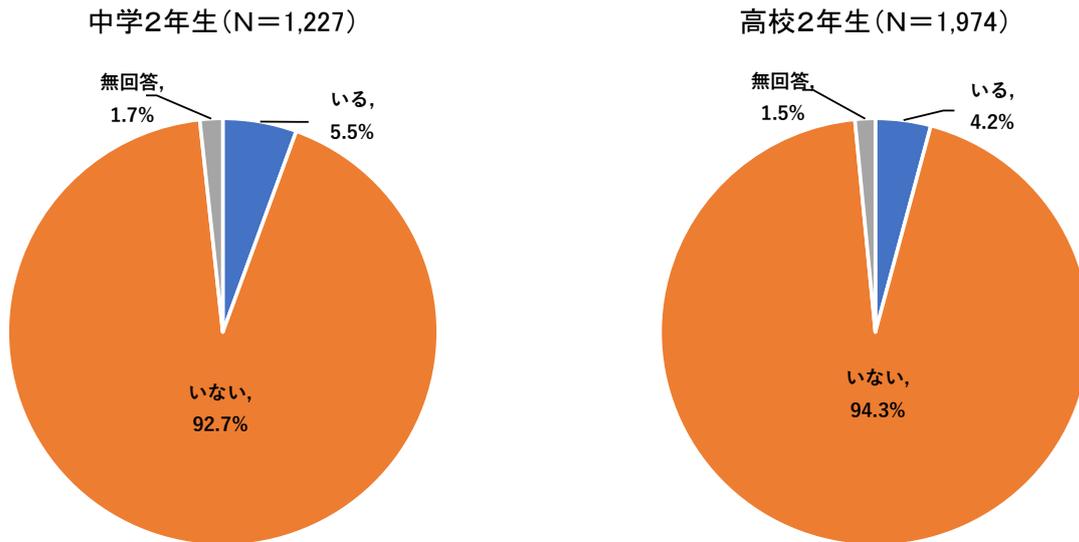


図. 世話をしている家族の有無(全国)

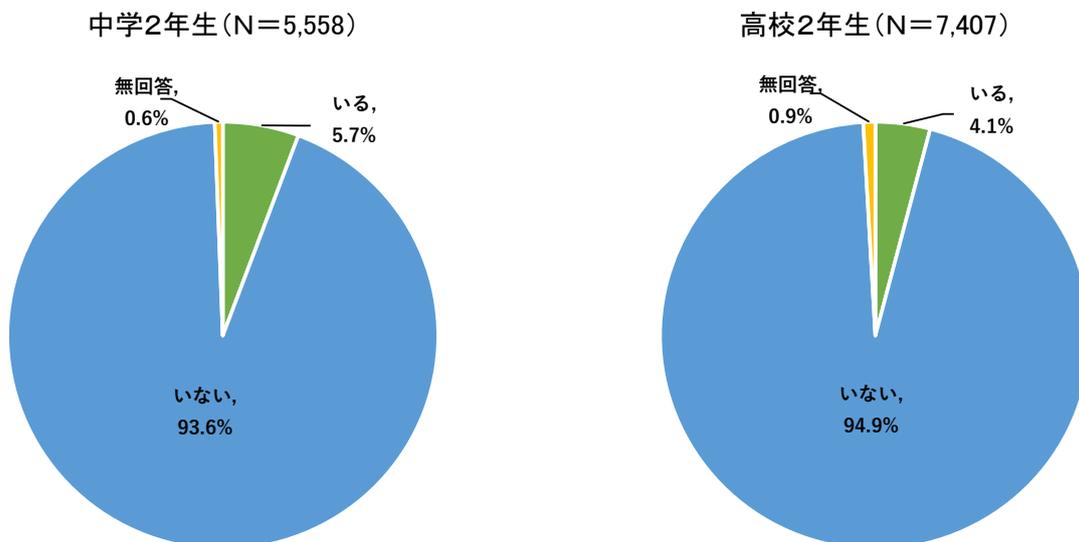


表. 世話をしている家族の有無(定時制高校2年生)

	いる	いない	無回答
富山県；定時制高校2年生相当 (N = 29)	3.4%	89.7%	6.9%
全 国；定時制高校2年生相当 (N = 366)	8.5%	89.9%	1.6%

(2) 世話を必要としている家族

【問 11 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。】

問 12① お世話の状況についてお教えてください。お世話を必要としている方。(MA)

世話を必要としている家族については、県中学生では「父母」、「祖父母」、「きょうだい」が42.6%（全国では「きょうだい」が61.8%）、県高校生では「父母」が57.3%（全国では「きょうだい」が44.3%）と最も高くなっている。

図. 世話を必要としている家族(富山県)

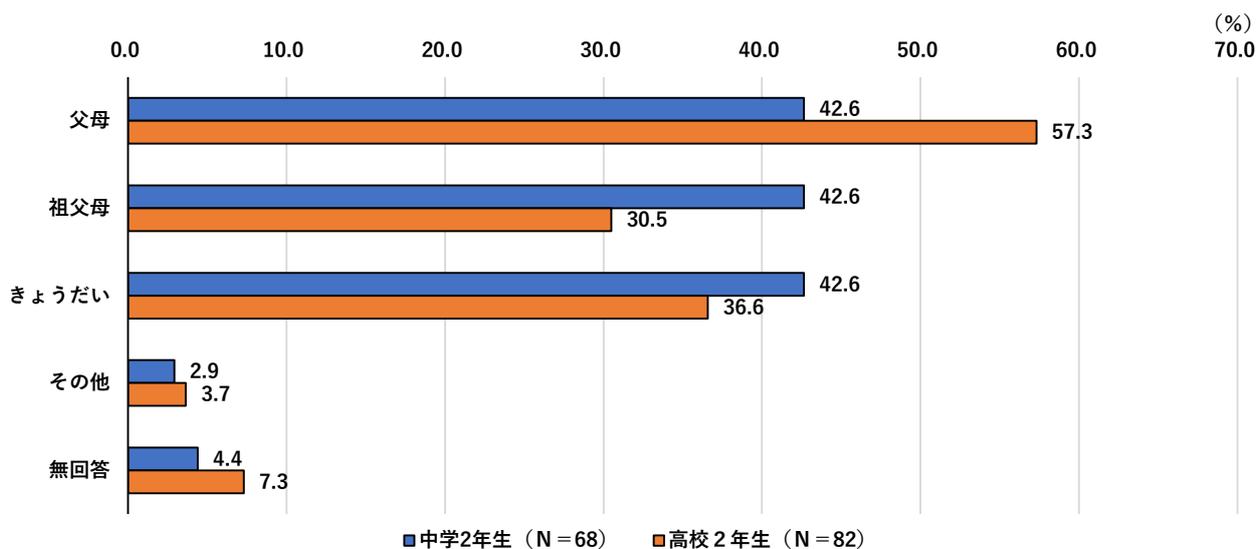


図. 世話を必要としている家族(全国)

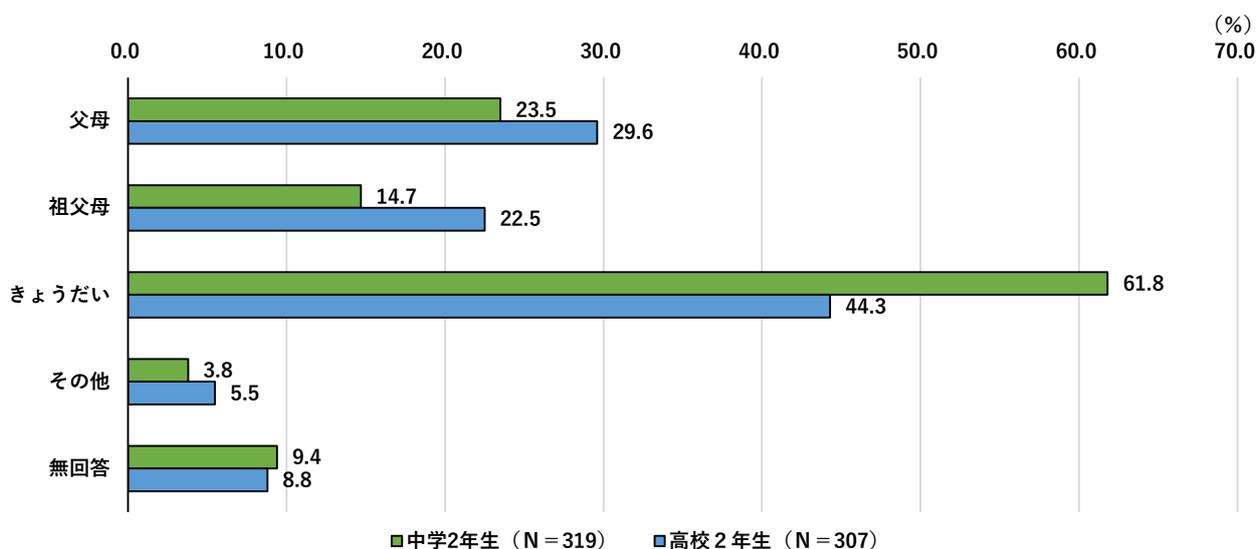


表. 世話を必要としている家族(定時制高校2年生)

	父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N=31)	35.5%	16.1%	41.9%	12.9%	9.7%

(3) 父母の状況

【問 12①で「1. 母親」と回答した方にお聞きします。】

問 12②-1 お世話を必要としている方の状況について教えてください。(MA)

【問 12①で「2. 父親」と回答した方にお聞きします。】

問 12②-2 お世話を必要としている方の状況やついて教えてください。(MA)

世話を必要としている家族として「父母」と回答した方に、父母の状況を聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「精神疾患・依存症（疑い含む）」(17.2%、36.2%) が最も高くなっている（全国調査では中学生が「身体障がい」(20.0%)、高校生が「その他」(17.6%) が最も高くなっている）。

※「無回答」を除く。

そのほかの選択肢では、県中学生では「精神疾患・依存症以外の病気」(13.8%)、県高校生では「身体障がい」(17.0%) がやや高くなっている。

図. 父母の状況(富山県)

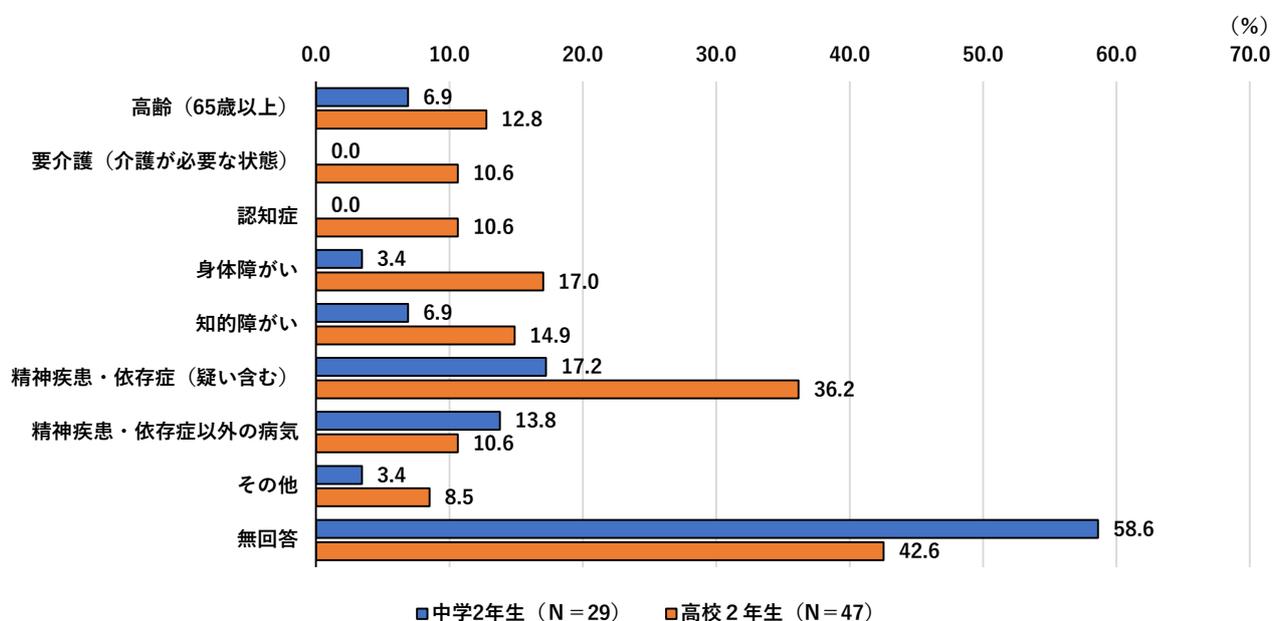


図. 父母の状況(全国)

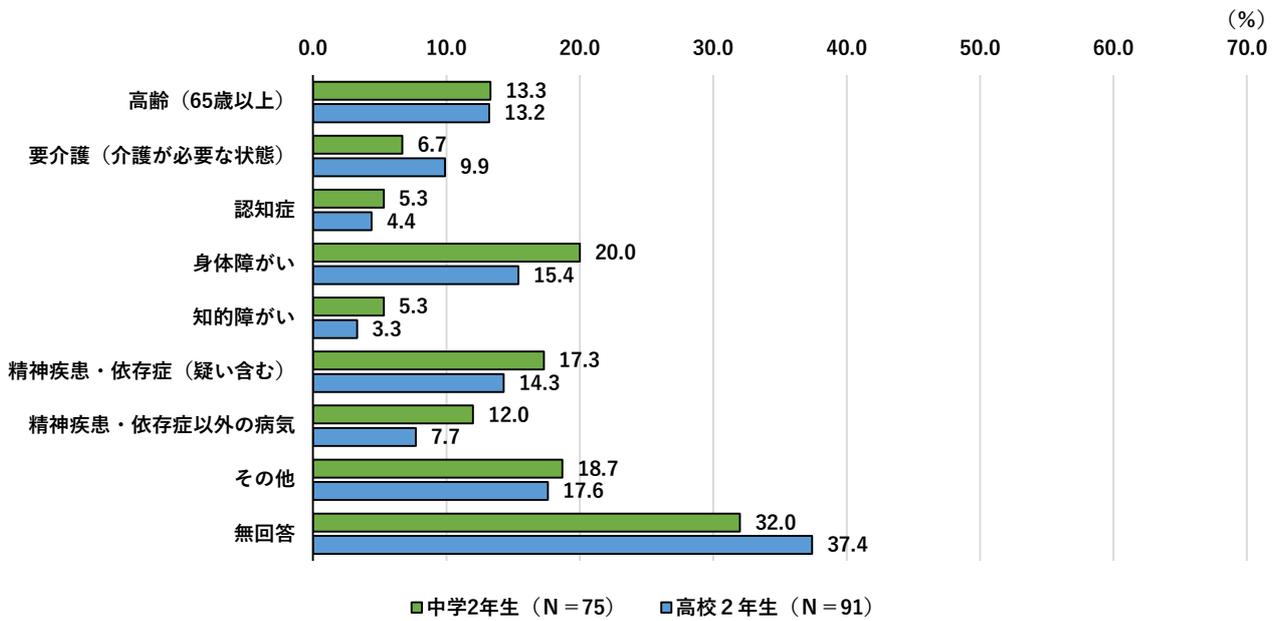


表. 父母の状況(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	高齢 (65歳以上)	要介護 (介護が必要な状態)	認知症	身体障がい	知的障がい	(疑い含む) 精神疾患・依存症	精神疾患・依存症以外の病気	その他	無回答
全国：定時制高校2年生相当 (N=11)	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	45.5%

(4) 祖父母の状況

【問 12①で「3. 祖母」と回答した方にお聞きします。】

問 12②-3 お世話を必要としている方の状況について教えてください。(MA)

【問 12①で「4. 祖父」と回答した方にお聞きします。】

問 12②-4 お世話を必要としている方の状況やついて教えてください。(MA)

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した方に、祖父母の状況を聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「高齢 (65歳以上)」(82.8%、56.0%) が最も高くなっている (全国調査も同様に「高齢 (65歳以上)」(80.9%、76.8%) が最も高くなっている)。

図. 祖父母の状況(富山県)

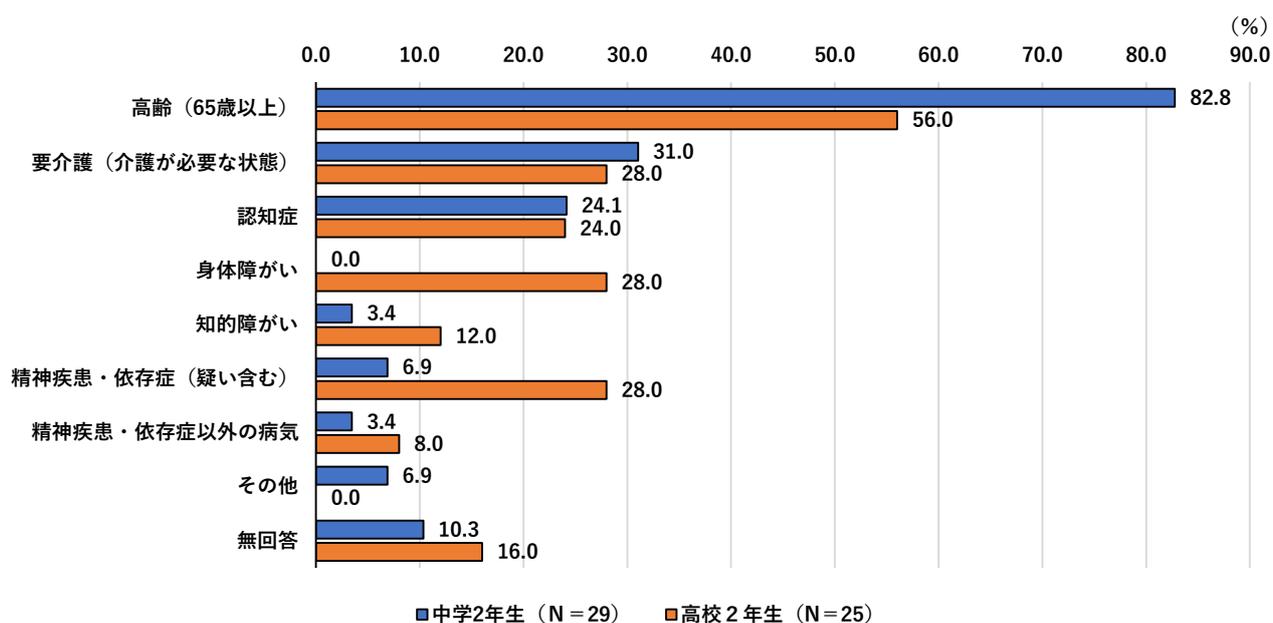
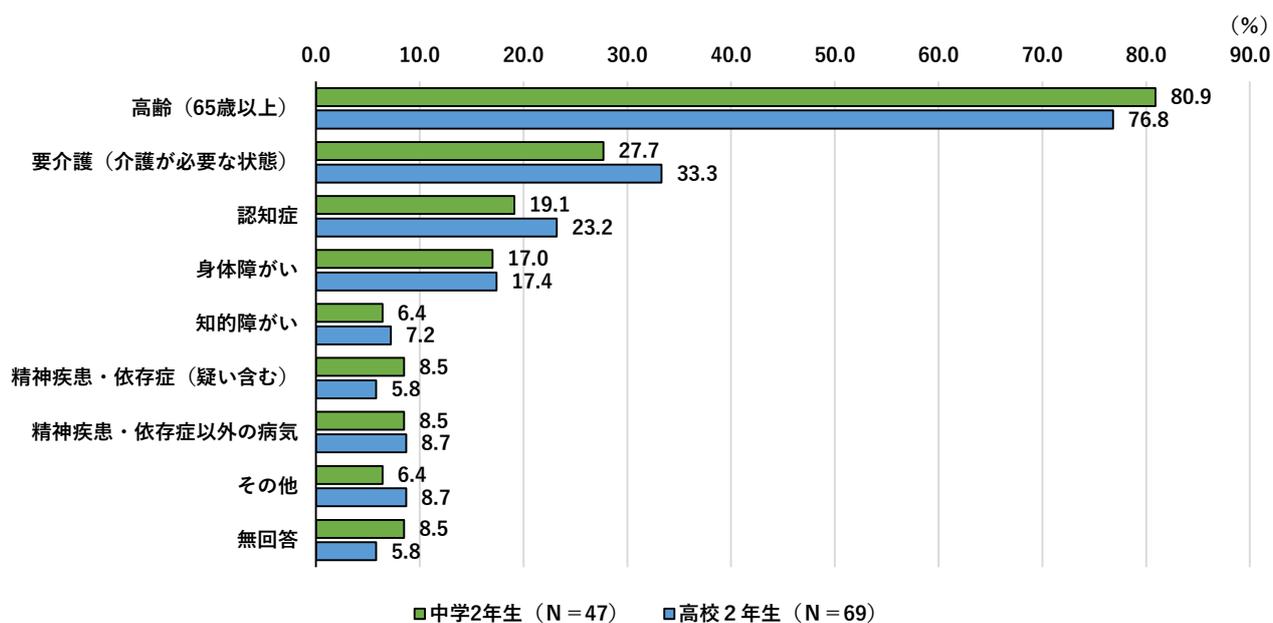


図. 祖父母の状況(全国)



※定時制高校2年生相当は、県調査の回答はなし、全国調査ではサンプル数が非常に少ないため、掲載していない。

(5) きょうだいの状況 (問 12②-5) : 複数回答

【問 12①で「5. きょうだい」と回答した方にお聞きします。】

問 12②-5 お世話を必要としている方の状況について教えてください。(MA)

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した方に、きょうだいの状況を聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「若い」(79.3%、66.7%)が最も高くなっている。(全国調査も同様に「若い」(73.1%、70.6%)が最も高くなっている)。

図. きょうだいの状況(富山県)

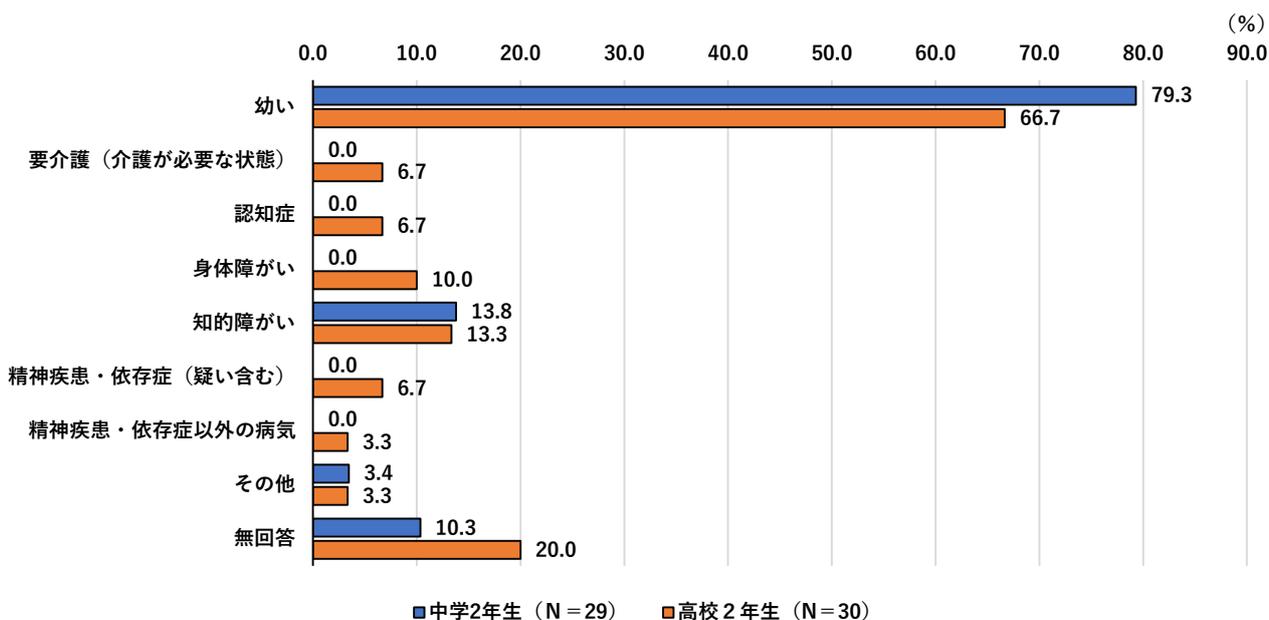


図. きょうだいの状況(全国)

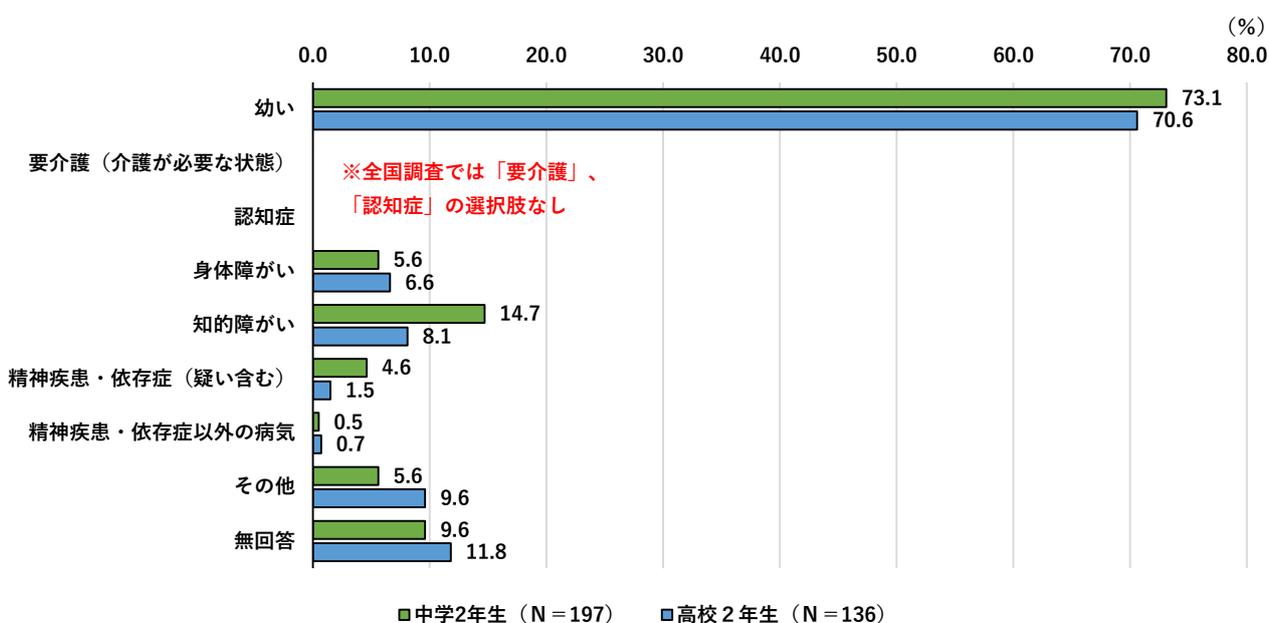


表. きょうだいの状況(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	幼 い	状 態 介 護)	要 介 護 (介 護 が 必 要 な	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	(精 神 疾 患 ・ 依 存 症) (疑 い 含 む)	の 精 神 疾 患 ・ 依 存 症 以 外	そ の 他	無 回 答
全 国：定時制高校2年生相当 (N=13)	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	

※「その他家族の状況(問12②-6):複数回答」については、回答者数が県中学生2名、県高校生3名と少数のため、割愛する。

(7) 世話の内容

① 世話の内容(父母)(問12③-1・2):複数回答

【問12①で「1. 母親」と回答した方にお聞きします。】

問12③-1 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

【問12①で「2. 父親」と回答した方にお聞きします。】

問12③-2 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

世話を必要としている家族として「父母」と回答した方に、父母への世話の内容を聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「家事」(44.8%、46.8%)が最も高くなっている。(全国調査も同様に「家事」(73.3%、68.1%)が最も高くなっている)。

図. 世話の内容(父母)(富山県)

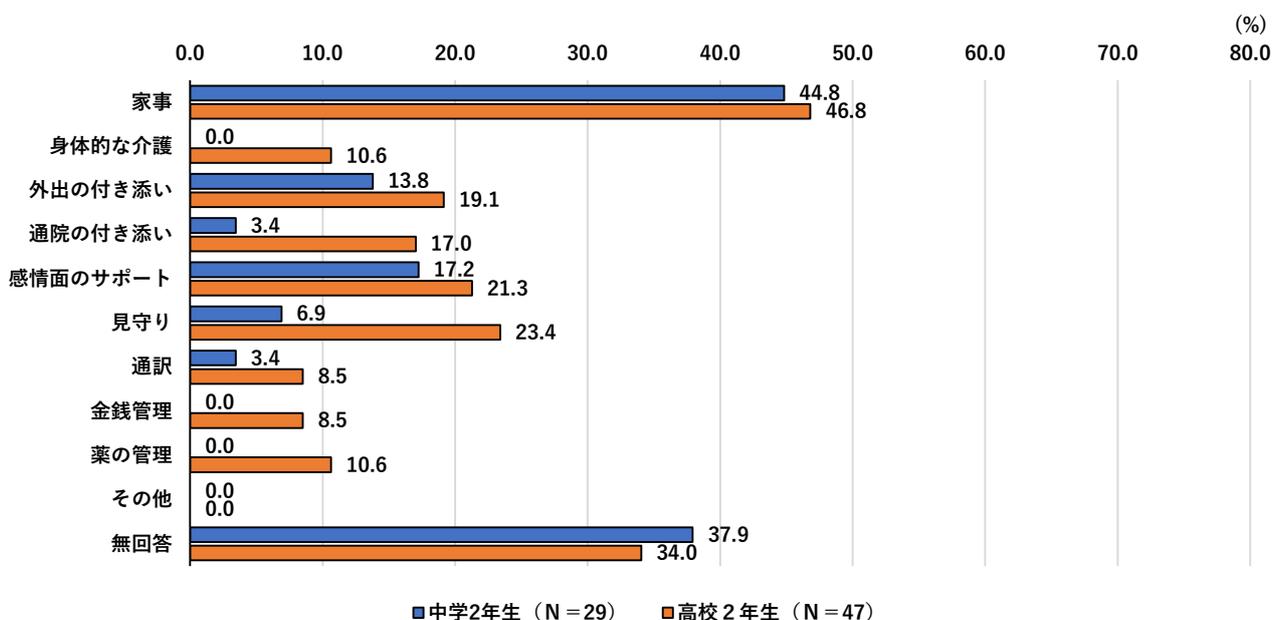


図. 世話の内容(父母)(全国)

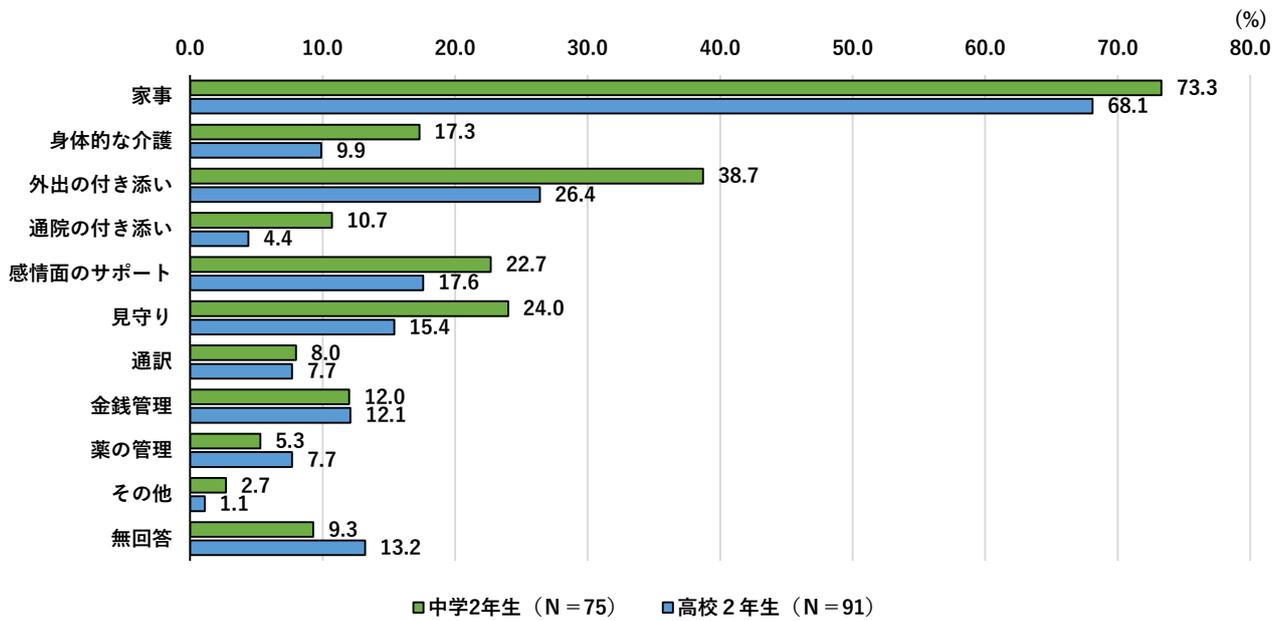


表. 世話の内容(父母)(定時制高校2年生) ※県調査の回答はなし

	家事	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全国：定時制高校2年生相当 (N=11)	72.7%	0.0%	18.2%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	0.0%	18.2%

② 世話の内容(祖父母)

【問 12①で「3. 祖母」と回答した方にお聞きします。】

問 12③-3 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

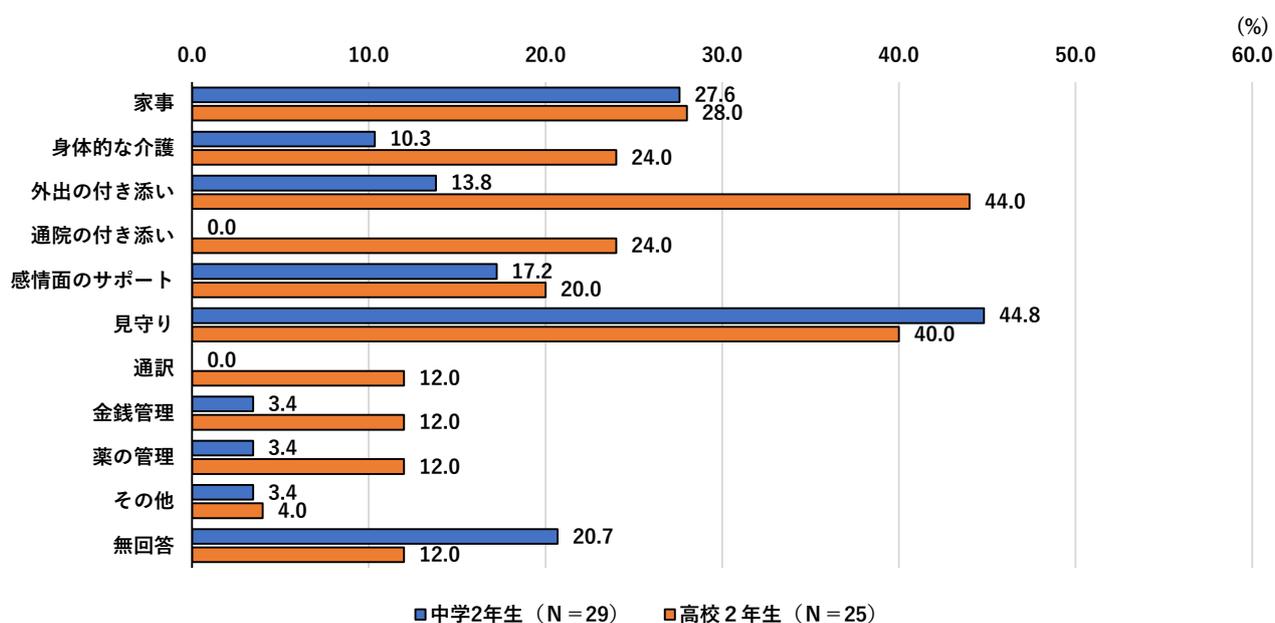
【問 12①で「4. 祖父」と回答した方にお聞きします。】

問 12③-4 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

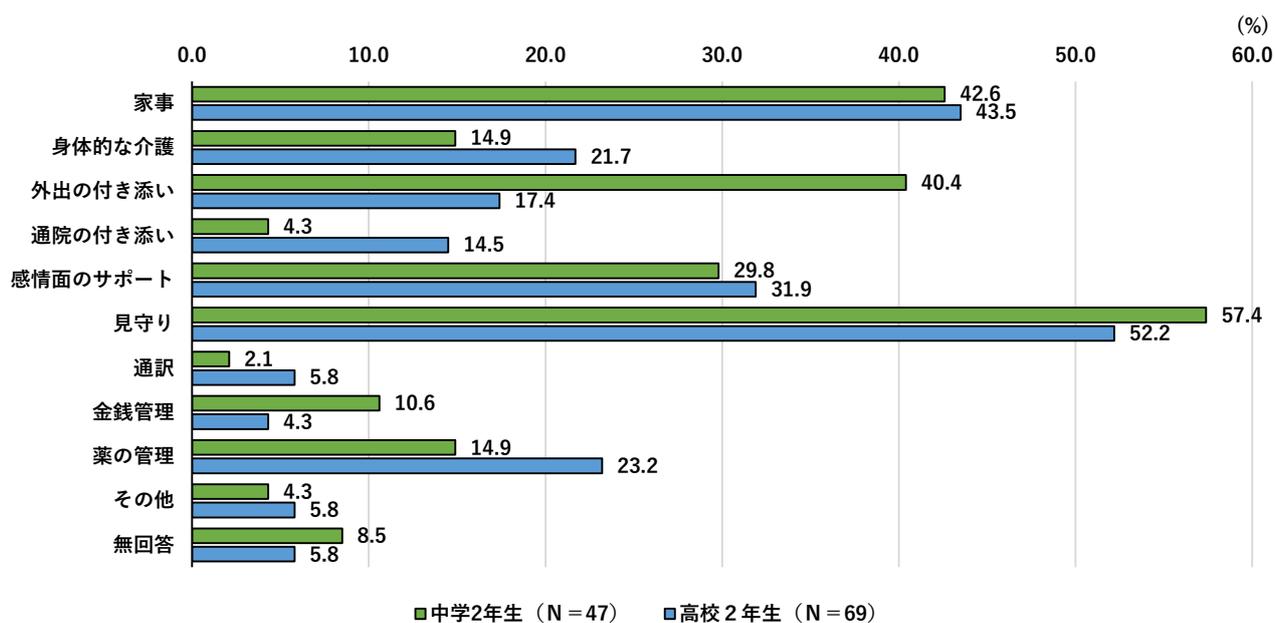
世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した方に、祖父母への世話の内容を聞いたところ、県中学生では「見守り」が44.8%、県高校生では「外出の付き添い」が44.0%と最も高くなっている(全国調査では中学生、高校生ともに「見守り」(57.4%、52.2%)が最も高くなっている)。

そのほかの選択肢では、県中学生では「見守り」(44.0%)、県高校生では「家事」(28.0%)がやや高くなっている。

図. 世話の内容(祖父母)(富山県)



■ 世話の内容(祖父母)(全国)



※定時制高校2年生相当は、県調査の回答はなし、全国調査ではサンプル数が非常に少ないため、掲載していない。

③ 世話の内容(きょうだい)

【問 12①で「5. きょうだい」と回答した方にお聞きします。】

問 12③-5 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した方に、きょうだいへの世話の内容を聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「見守り」(69.0%、50.0%)が最も高くなっている(全国調査では、中学生が「見守り」(68.0%)、高校生が「家事」(56.6%)が最も高くなっている)。

そのほかの選択肢では、県中学生では「家事」(37.9%)、県高校生では「身体的な介護」(36.7%)、「家事」(33.3%)がやや高くなっている。

図. 世話の内容(きょうだい)(富山県)

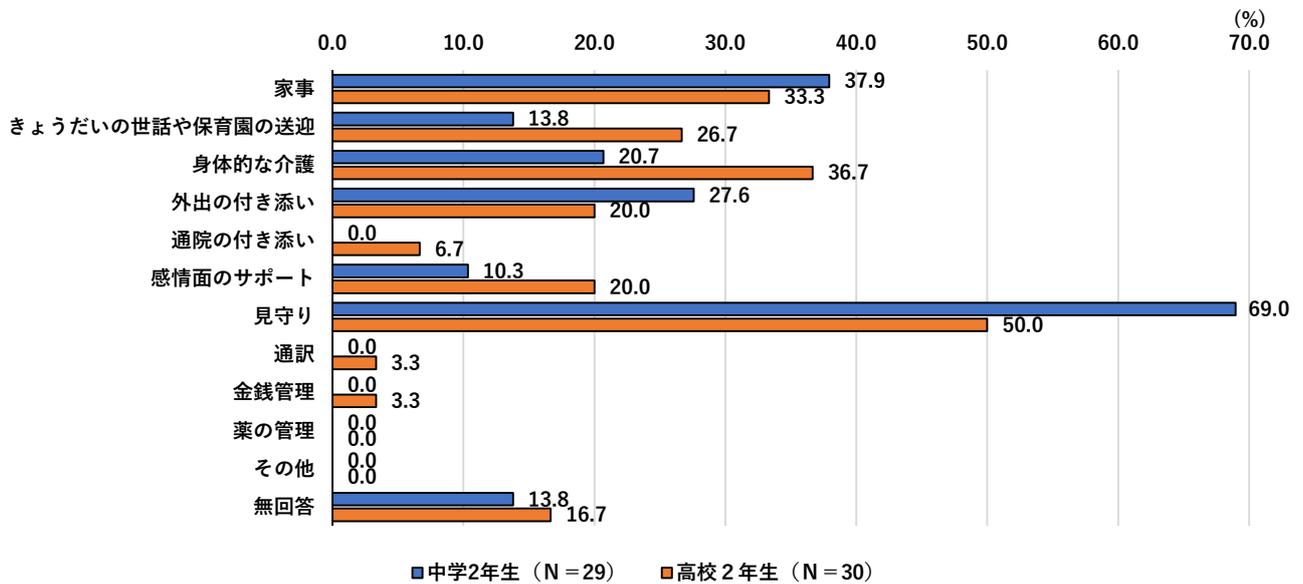


図. 世話の内容(きょうだい)(全国)

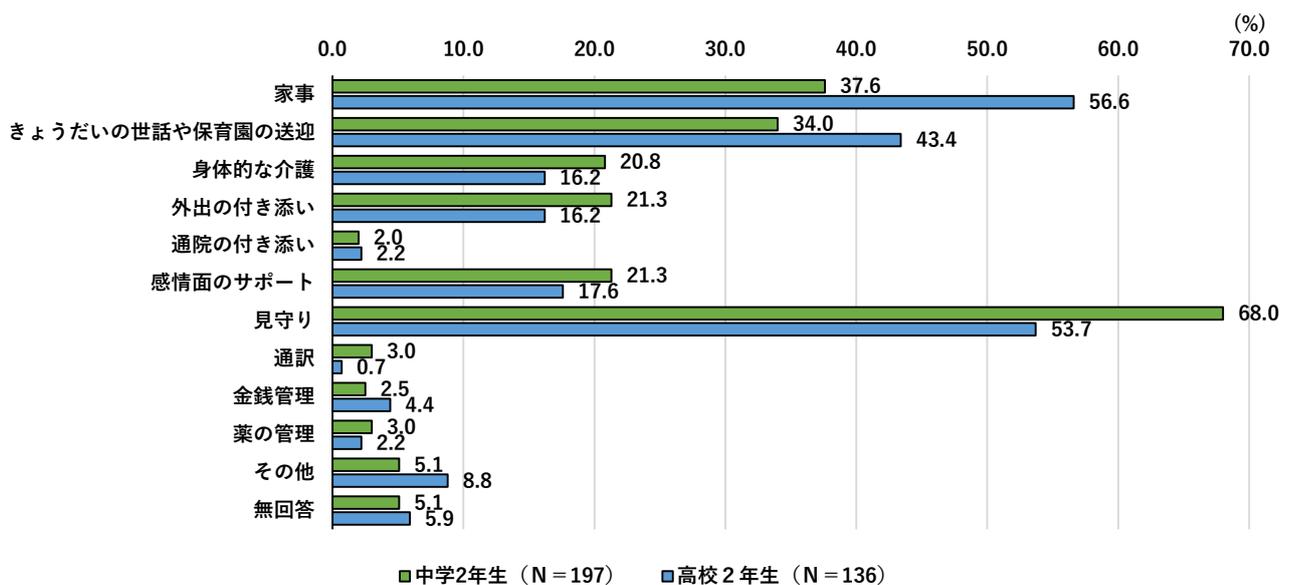


表. 世話の内容(きょうだい)(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	家事	きょうだいの送迎	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 国：定時制高校2年生相当 (N=13)	38.5%	46.2%	7.7%	38.5%	15.4%	15.4%	46.2%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%

※「その他家族の状況(問12③-6):複数回答」については、回答者数が県中学生2名、県高校生3名と少数のため、割愛する。

【以下の設問は、世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく、一括で回答いただいた。】

(8) 世話を一緒にしている人

問12④ お世話は誰と行っていますか。(MA)

世話を一緒にしている人については、県中学生、県高校生ともに「母親」(54.4%、43.9%)が最も高く、次いで「きょうだい」(38.2%、36.6%)、「父親」(32.4%、31.7%)となっている(全国調査も同様に「母親」(58.3%、52.1%)が最も高くなっている)。

図. 世話を一緒にしている人(富山県)

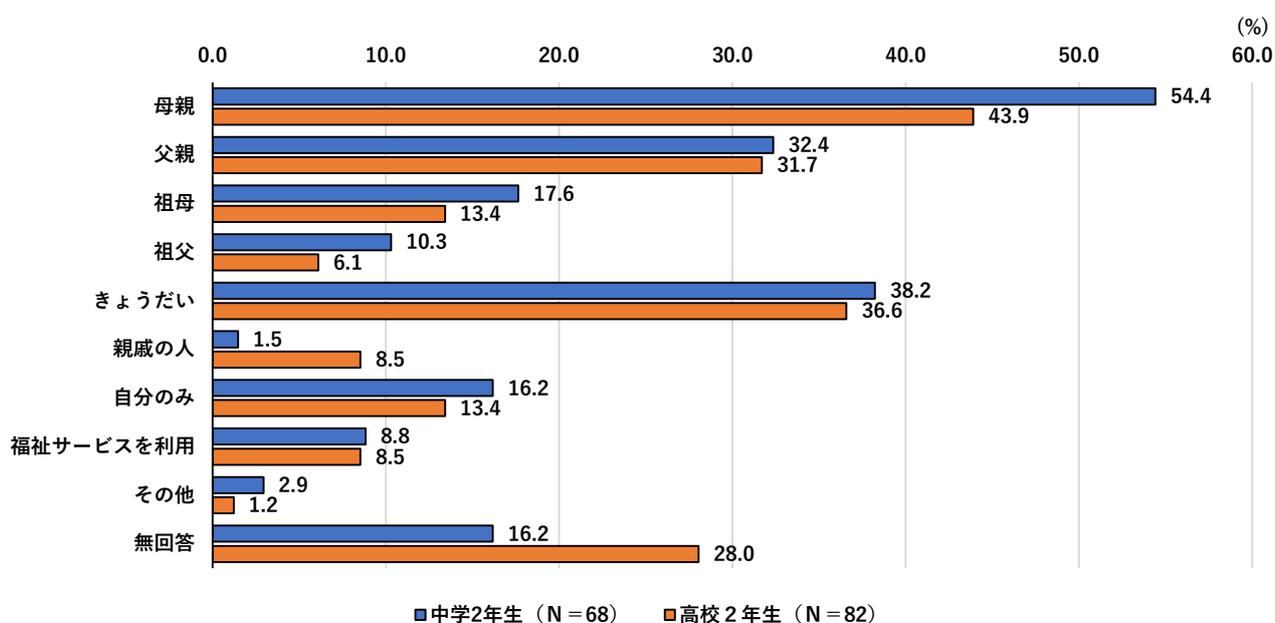


図. 世話を一緒にしている人(全国)

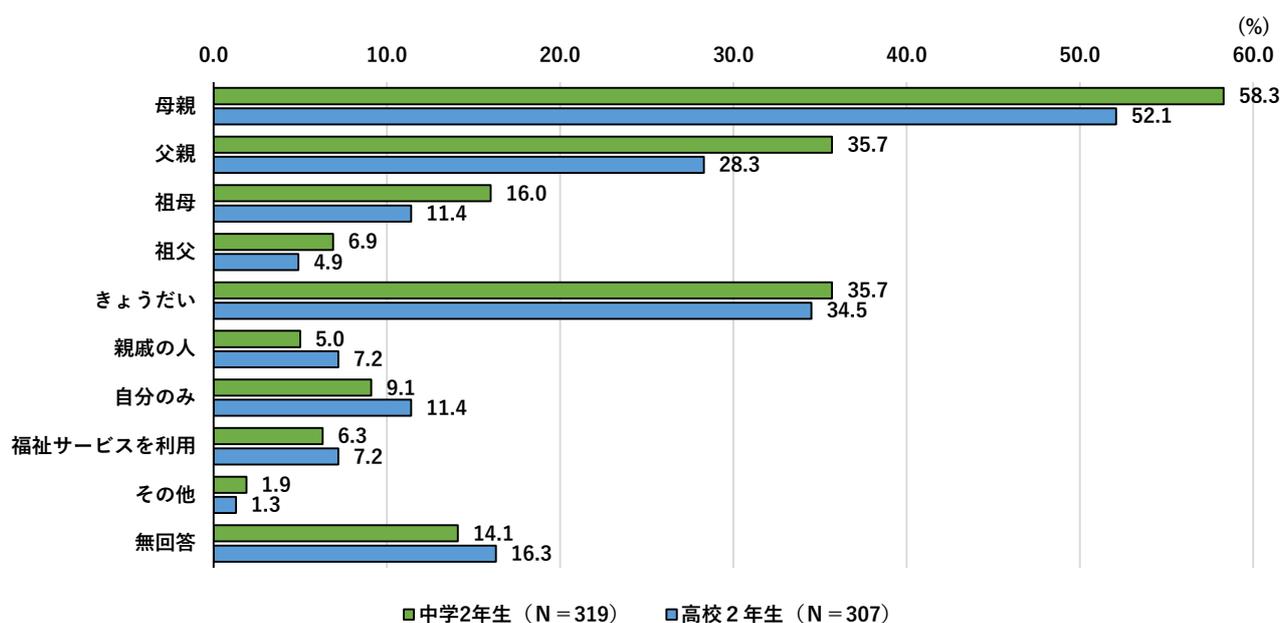


表. 世話を一緒にしている人(定時制高校2年生)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービスを利用	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全国：定時制高校2年生相当 (N=31)	41.9%	19.4%	12.9%	3.2%	25.8%	9.7%	19.4%	6.5%	3.2%	19.4%

(9) 世話を始めた年齢(問 12⑤)

問 12⑤ お世話はいつごろから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)(SA)

世話を始めた年齢については、県中学生では「小学校(高学年)」が41.2%(全国34.2%)、県高校生では「中学生以上」が48.8%(全国37.8%)と最も高くなっている。

図. 世話を始めた年齢(富山県)※県調査では「就学前」の選択肢なし。

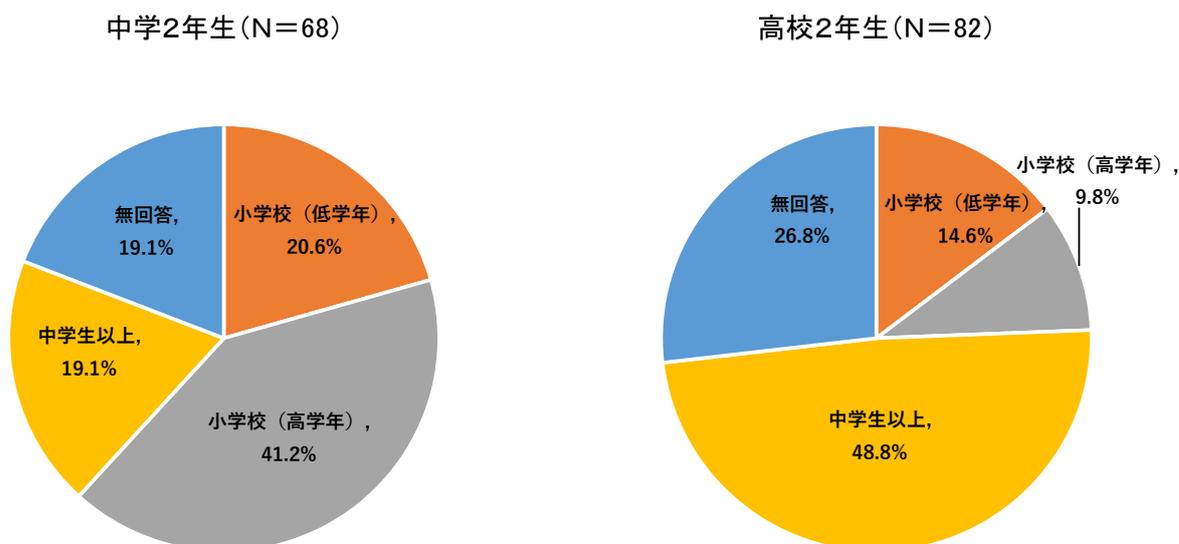


図. 世話を始めた年齢(全国)

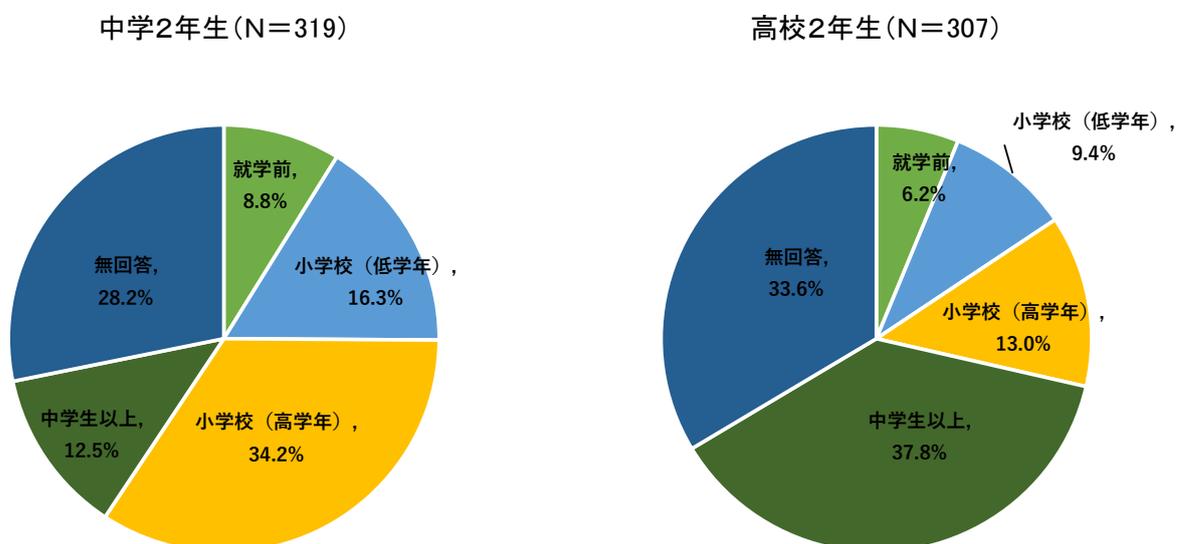


表. 世話を始めた年齢(定時制高校2年生)

	就学前	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生以上	無回答
富山県: 定時制高校2年生相当 (N=1)	-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全国: 定時制高校2年生相当 (N=31)	3.2%	0.0%	25.8%	29.0%	41.9%

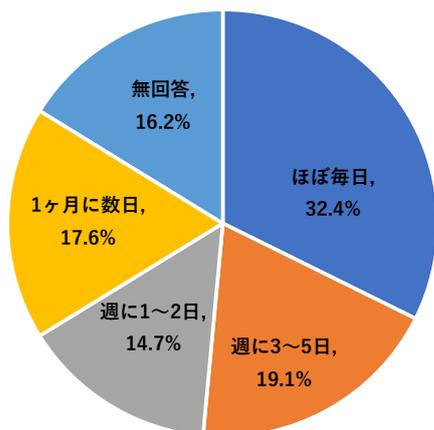
(10) 世話をしている頻度

問 12-⑥ お世話をしている頻度を教えてください。(SA)

世話をしている頻度については、県中学生、県高校生ともに「ほぼ毎日」(32.4%、39.0%)が最も高くなっている。(全国調査も同様に「ほぼ毎日」(45.1%、47.6%)が最も高くなっている)。

図. 世話をしている頻度(富山県)※県調査では「その他」の選択肢なし。

中学2年生(N=68)



高校2年生(N=82)

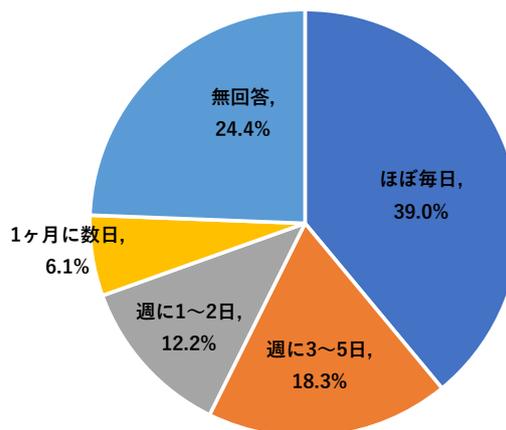
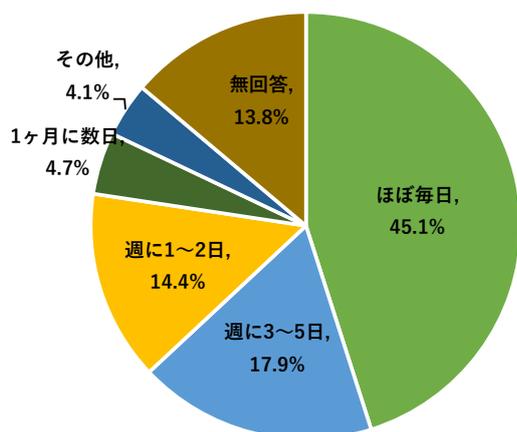


図. 世話をしている頻度(全国)

中学2年生(N=319)



高校2年生(N=307)

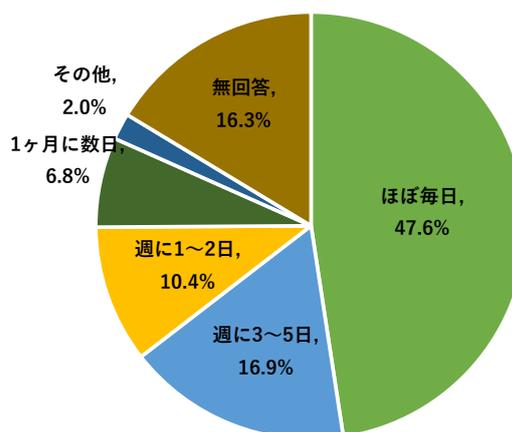


表. 世話をしている頻度(定時制高校2年生)

	ほぼ毎日	週に3~5日	週に1~2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
富山県: 定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	100.0%
全 国: 定時制高校2年生相当 (N=31)	35.5%	12.9%	16.1%	3.2%	12.9%	19.4%

(11) 平日1日あたりの世話に費やす時間

問 12-⑦ 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください) (SA)

平日1日あたりに世話に費やす時間については、県中学生、県高校生ともに「3時間未満」(64.7%、46.3%)と最も高くなっている(全国調査も同様に「3時間未満」(42.0%、35.8%)が最も高くなっている)。

図. 平日1日あたりの世話に費やす時間(富山県)

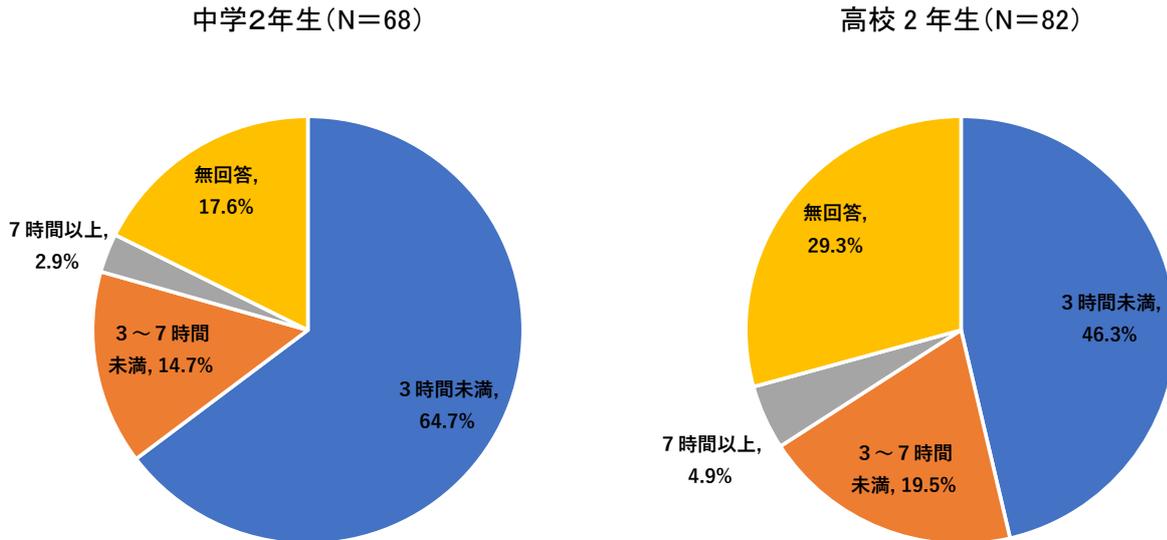


図. 平日1日あたりの世話に費やす時間(全国)

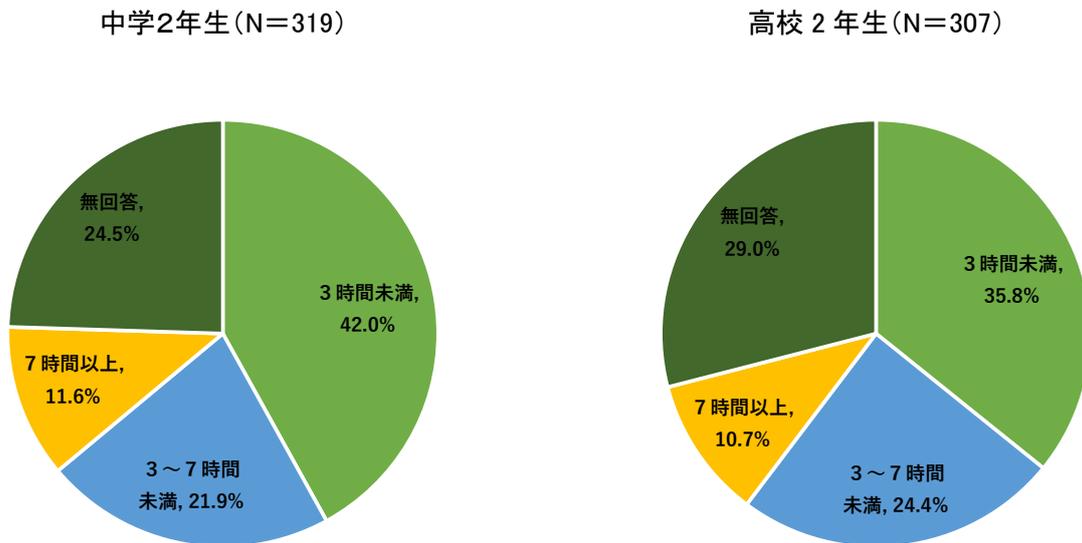


表. 平日1日あたりの世話に費やす時間(定時制高校2年生)

	3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N=31)	19.4%	25.8%	9.7%	45.2%

(12) 世話をしているためにやりたいけれどできないこと

問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(MA)

世話をしているためにやりたいけれどできていないことについては、県中学生、県高校生ともに「特にない」(61.8%、40.2%)が最も高くなっている(全国も同様に「特にない」(58.0%、52.1%)が最も高くなっている)。

そのほかの選択肢では、県中学生では「自分の時間が取れない」(13.2%)、県高校生では「自分の時間が取れない」(17.1%)、「宿題や勉強をする時間がない」(14.6%)がやや高くなっている。

※「無回答」を除く。

図. 世話をしているためにやりたいけれどできていないこと(富山県)

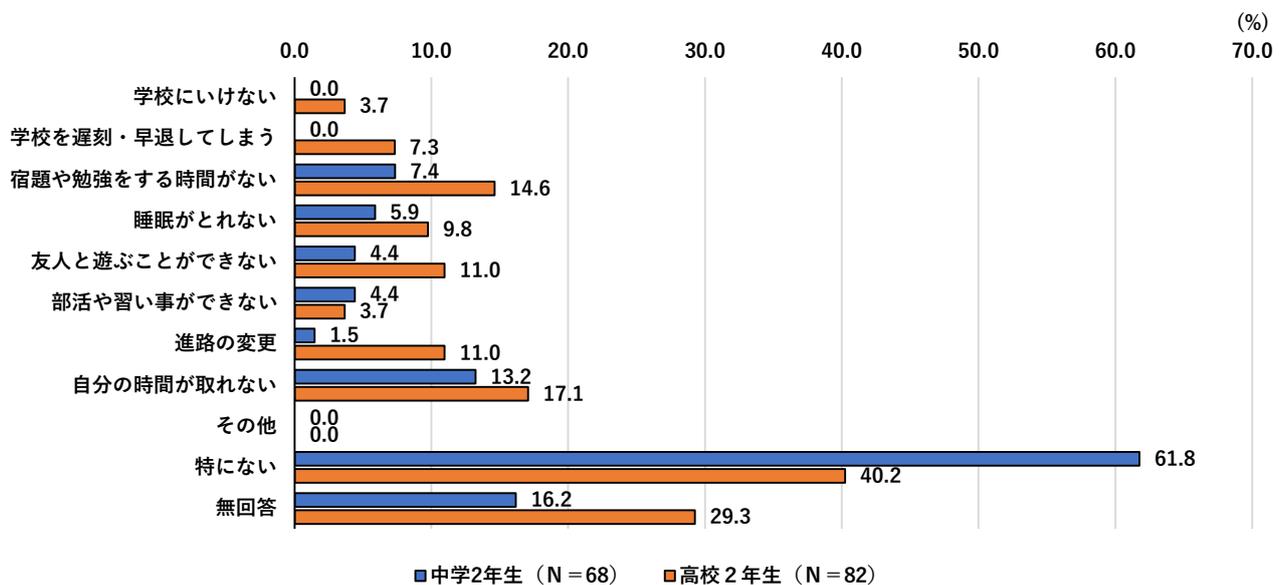


図. 世話をしているためにやりたいけれどできていないこと(全国)

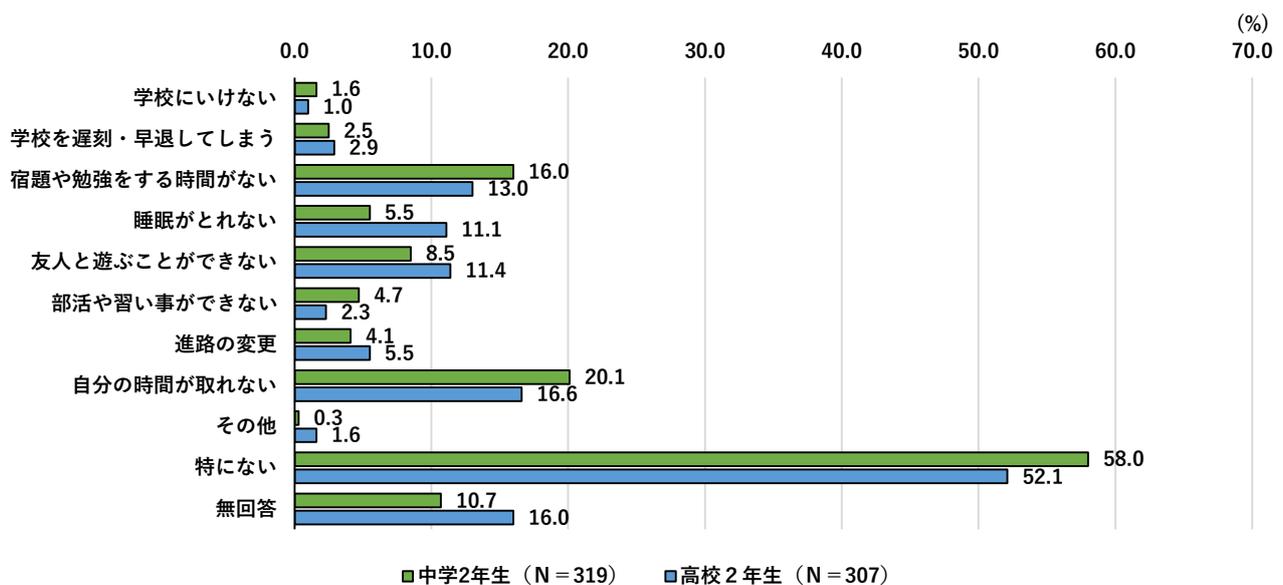


表. 世話をしているためにやりたいけれどできていないこと(定時制高校2年生)

	学校にいけない	学校を遅刻・早退	時間や勉強をする	宿題がやれない	睡眠がとれない	友人と遊ぶことが	部活や習い事が	進路の変更	自分の時間が	その他	特にな	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N=31)	0.0%	3.2%	12.9%	16.1%	16.1%	0.0%	6.5%	19.4%	0.0%	58.1%	16.1%	

(13) 世話の大変さ

問 14 お世話をすることにきつさを感じていますか。(MA)

世話の大変さについては、県中学生、県高校生ともに「特にきつさは感じていない」(58.8%、43.9%)が最も高くなっている(全国も同様に「特にきつさは感じていない」(60.5%、52.1%)が最も高くなっている)。

そのほかの選択肢では、県中学生では「精神的にきつい」(19.1%)、県高校生では「精神的にきつい」(18.3%)、「時間的余裕がない」(17.1%)がやや高くなっている。

※「無回答」を除く。

図. 世話の大変さ(富山県)

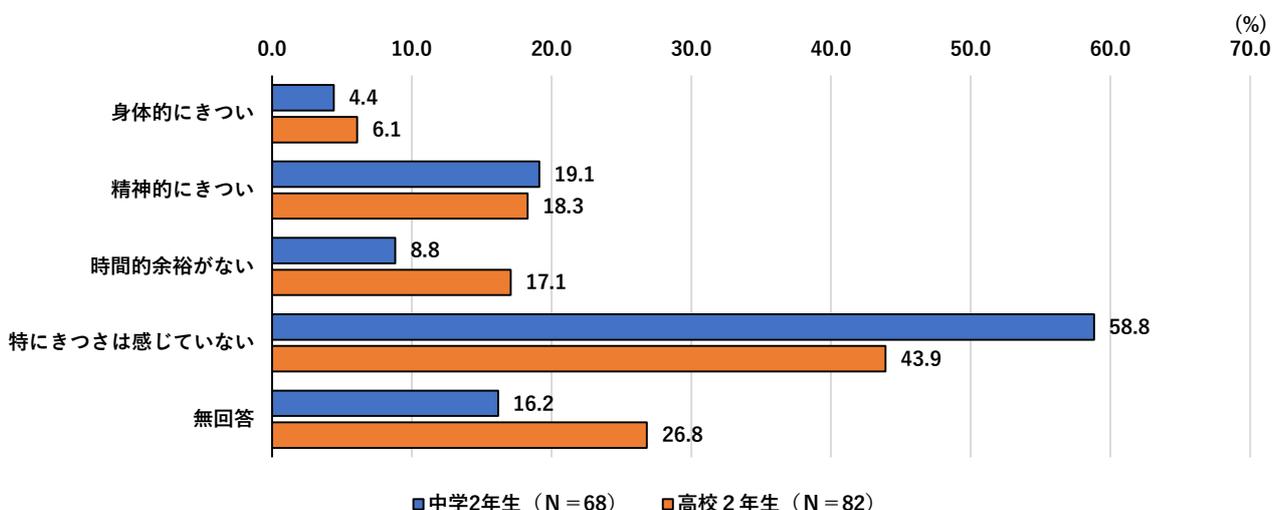


図. 世話の大変さ(全国)

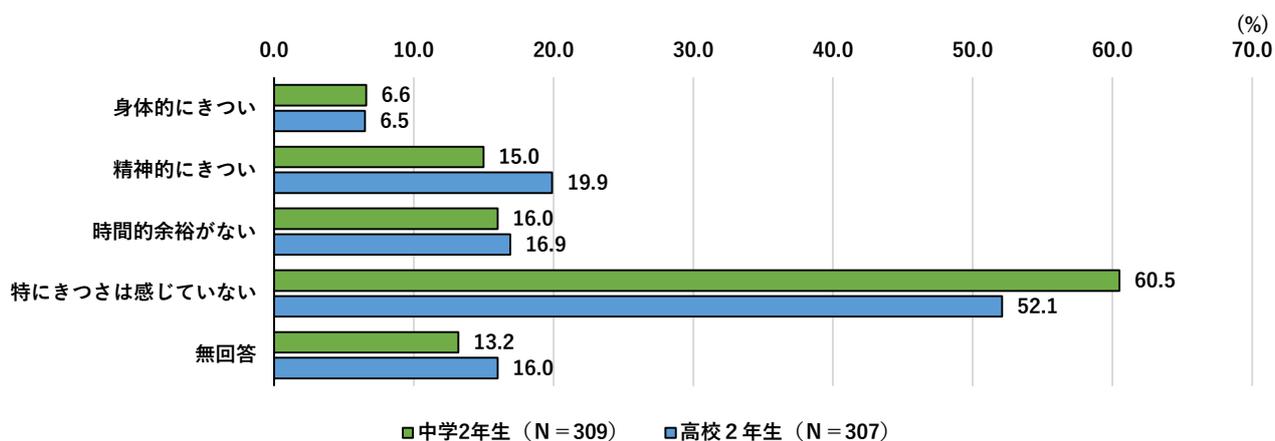


表. 世話の大変さ(定時制高校2年生)

	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全国：定時制高校2年生相当 (N=31)	16.1%	29.0%	25.8%	45.2%	19.4%

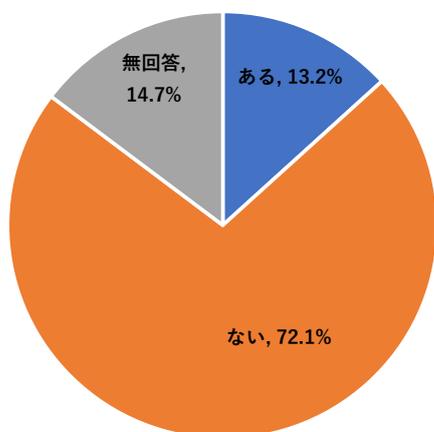
(14) 世話について相談した経験

問 16 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(S A)

世話について相談した経験については、県中学生では「ある」が13.2% (全国21.6%)、「ない」が72.1% (全国67.7%)、県高校生では「ある」が22.0% (全国23.5%)、「ない」が52.4% (全国64.2%) となっている。

図. 世話について相談した経験(富山県)

中学2年生(N=68)



高校2年生(N=82)

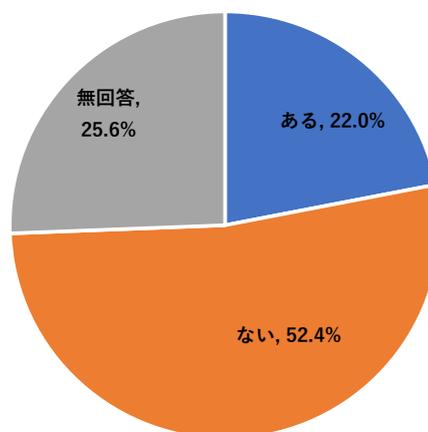
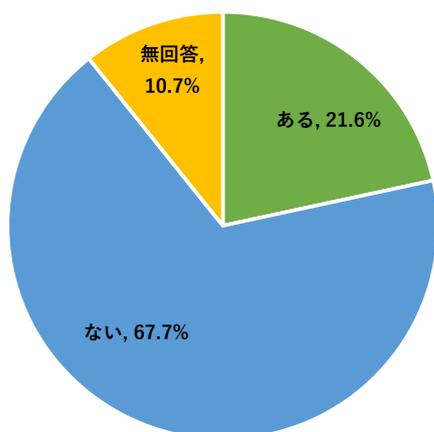


図. 世話について相談した経験(全国)

中学2年生(N=319)



高校2年生(N=307)

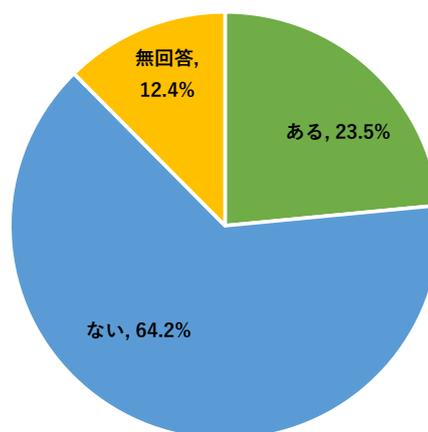


表. 世話について相談した経験(定時制高校2年生)

	ある	ない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	100.0%
全 国：定時制高校2年生相当 (N=31)	32.3%	51.6%	16.1%

(15) 世話についての相談相手

【問 15 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。】

問 16 それは誰ですか。(MA)

世話について相談した経験が「ある」と回答した方に、世話についての相談相手について聞いたところ、県中学生では「家族」が77.8%、県高校生では「友人」が50.0%と最も高くなっている（全国調査では、中学生、高校生ともに「家族（69.6%、69.4%）」が最も高くなっている）。

※県調査の回答者数が少数のため、参考値。

図. 世話についての相談相手(富山県)

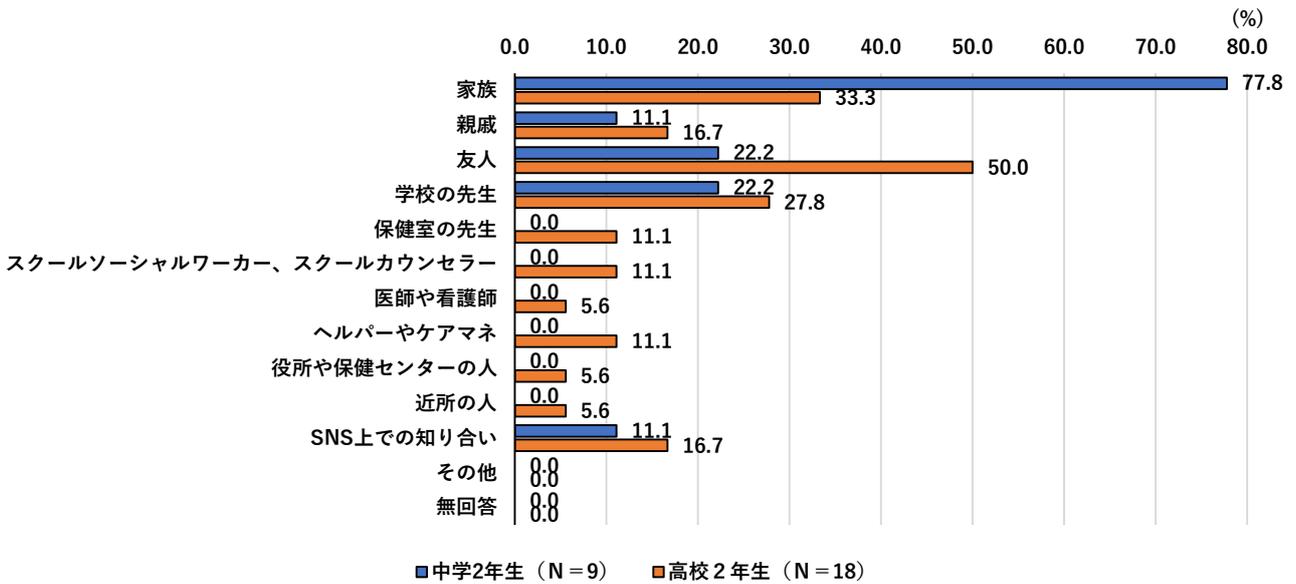


図. 世話についての相談相手(全国)

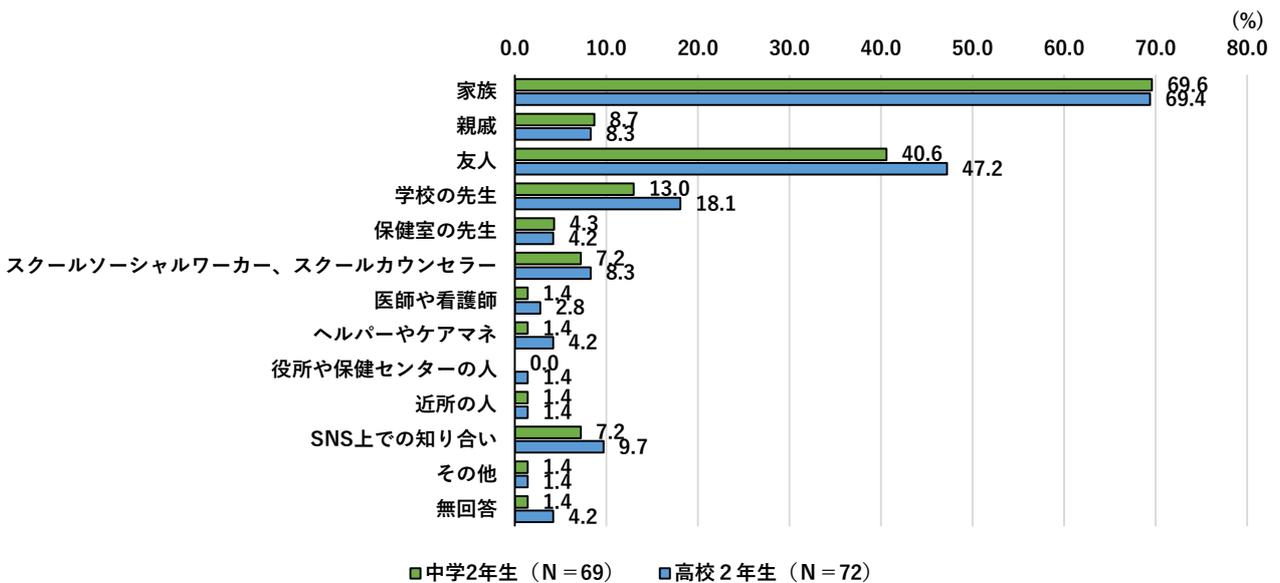


表. 世話についての相談相手(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	家族	親戚	友人	学校の先生	保健室の先生	スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、	医師や看護師	ヘルパーやケアマネ	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
全 国：定時制高校2年生相当 (N=10)	70.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%

(16) 世話について相談したことがない理由

【問 15 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。】

問 17 相談していない理由を教えてください。(MA)

世話について相談した経験が「ない」と回答した方に、その理由について聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「誰かに相談するほどの悩みではない」(69.4%、76.7%)が最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」(26.5%、16.3%)となっている(全国調査も同様に、「誰かに相談するほどの悩みではない」(74.5%、65.0%)が最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」(24.1%、22.8%)となっている)。

図. 世話について相談したことがない理由(富山県)

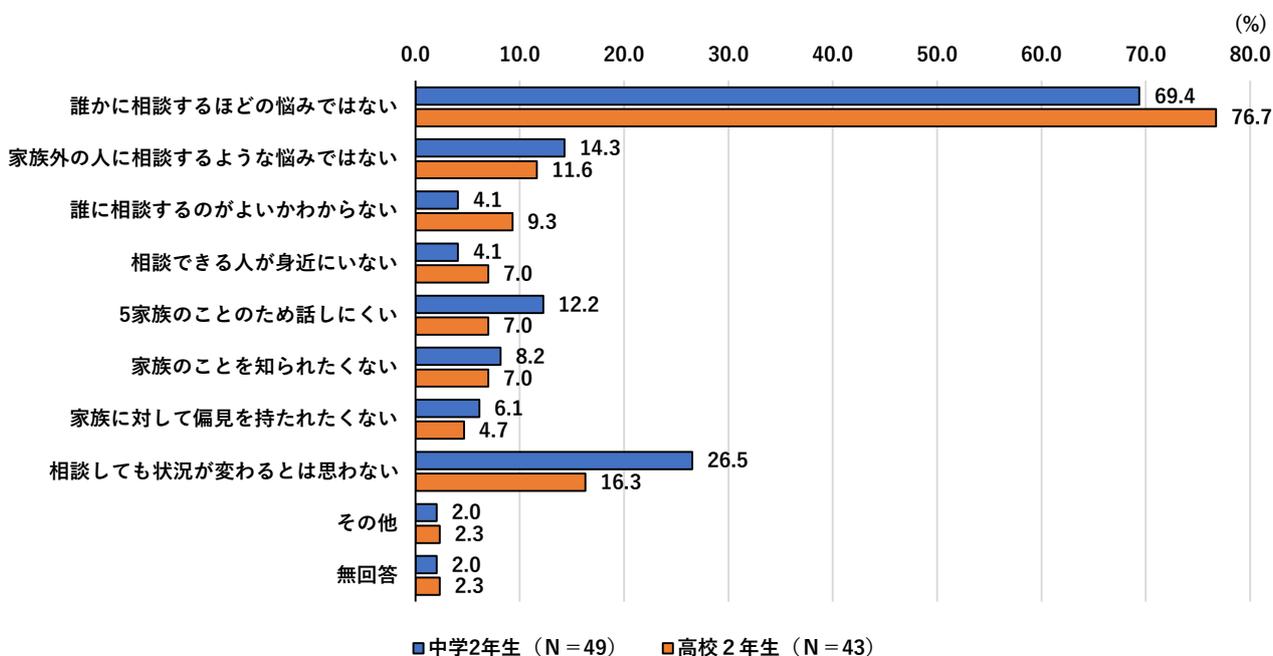


図. 世話について相談したことがない理由(全国)

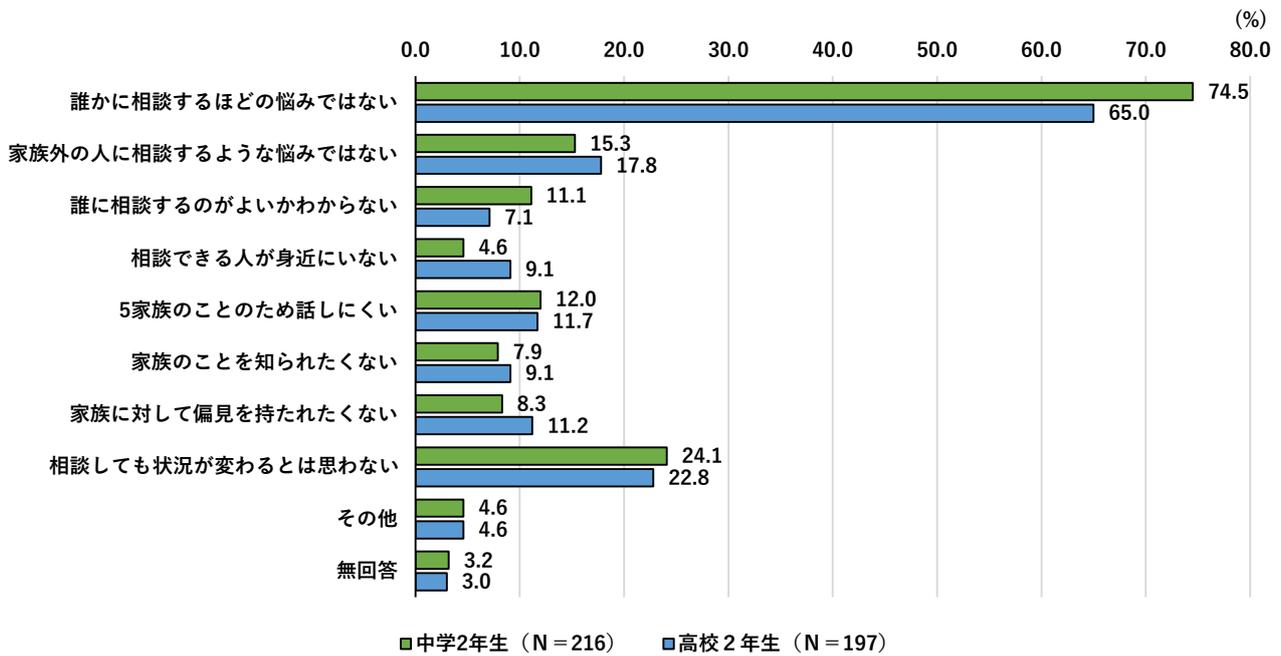


表. 世話について相談したことがない理由(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	誰かに相談するほどの悩み	家族外の人に相談するような	誰に相談するのよいか	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
全国：定時制高校2年生相当 (N = 16)	62.5%	6.3%	6.3%	18.8%	18.8%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%

(17) 世話について話を聞いてくれる存在の有無

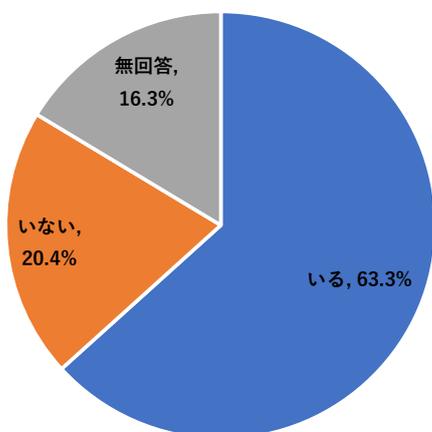
【問 15 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。】

問 18 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(S A)

世話について相談した経験が「ない」と回答した方に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、県中学生では「いる」が63.3% (全国57.9%)、「いない」が20.4% (全国38.4%)、県高校生では「ある」が58.1% (全国60.9%)、「いない」が25.6% (全国36.0%) となっている。

図. 世話について話を聞いてくれる存在の有無(富山県)

中学2年生(N=49)



高校2年生(N=43)

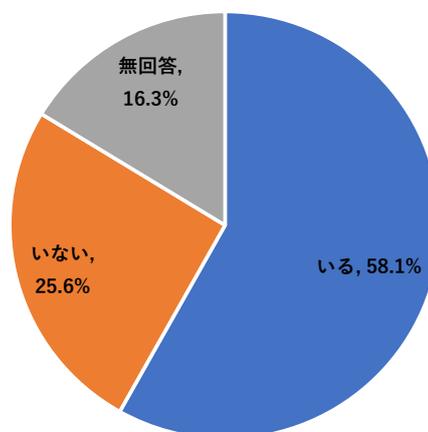
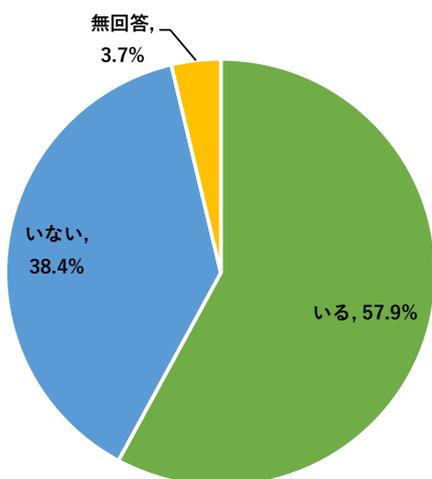


図. 世話について話を聞いてくれる存在の有無(全国)

中学2年生(N=216)



高校2年生(N=197)

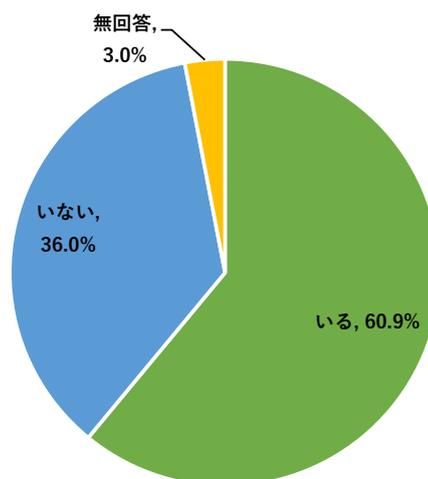


表. 世話について話を聞いてくれる存在の有無(定時制高校2年生)※県調査の回答はなし

	いる	いない	無回答
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 16)	68.8%	31.3%	0.0%

(18) 学校や大人にしてもらいたいこと

問 19-① 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(MA)

学校や大人にしてもらいたいことを聞いたところ、県中学生、県高校生ともに「特にない」(54.4%、36.6%)が最も高くなっている(全国調査も同様に、「特にない」(45.8%、39.7%)が最も高くなっている)。

そのほかの選択肢では、県中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」(17.6%)、県高校生では「自由に使える時間がほしい」(12.2%)、「家庭への経済的な支援」(11.0%)、「わからない」(11.0%)がやや高くなっている。

図. 学校や大人にしてもらいたいこと(富山県)

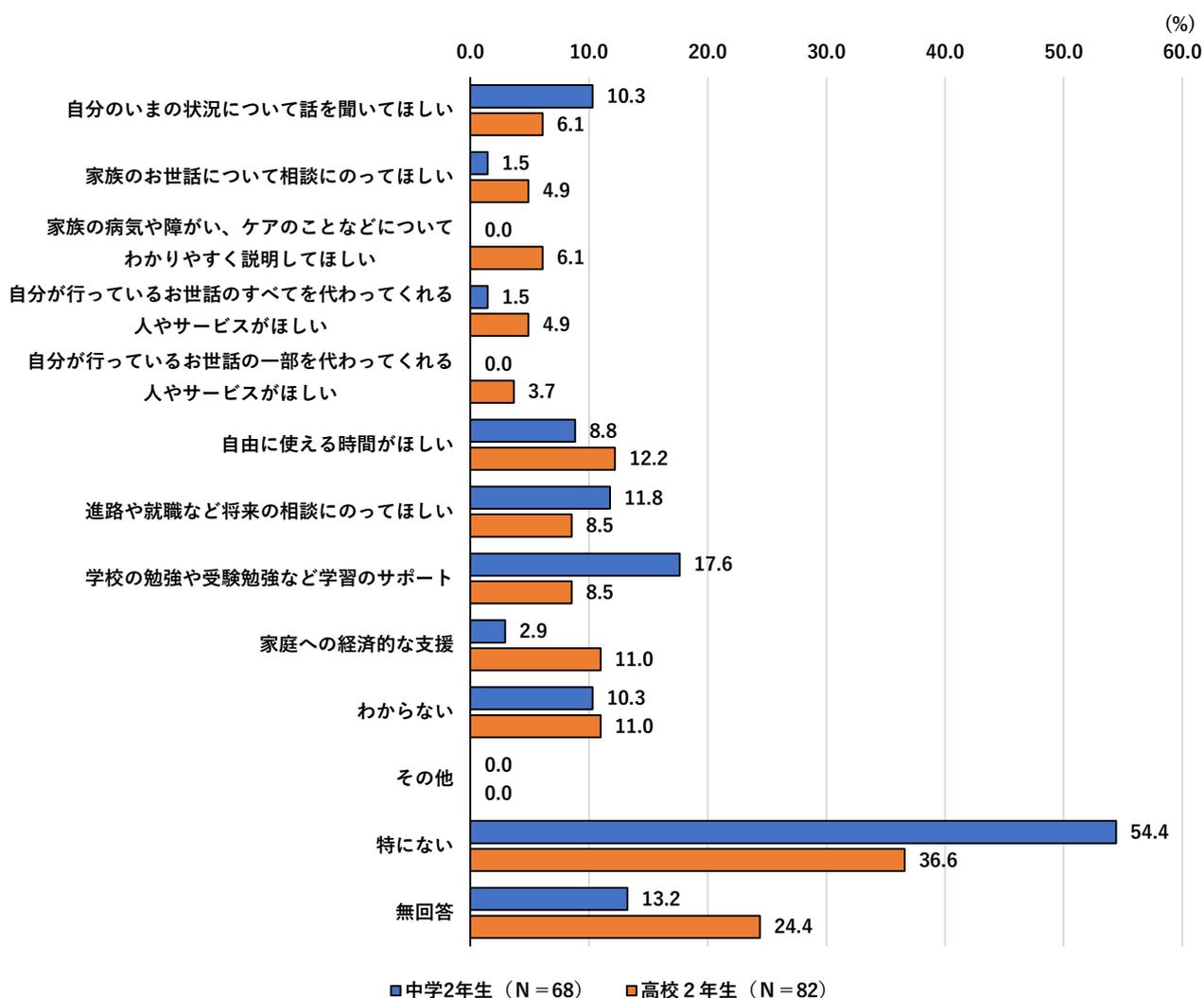


図. 学校や大人にしてもらいたいこと(全国)

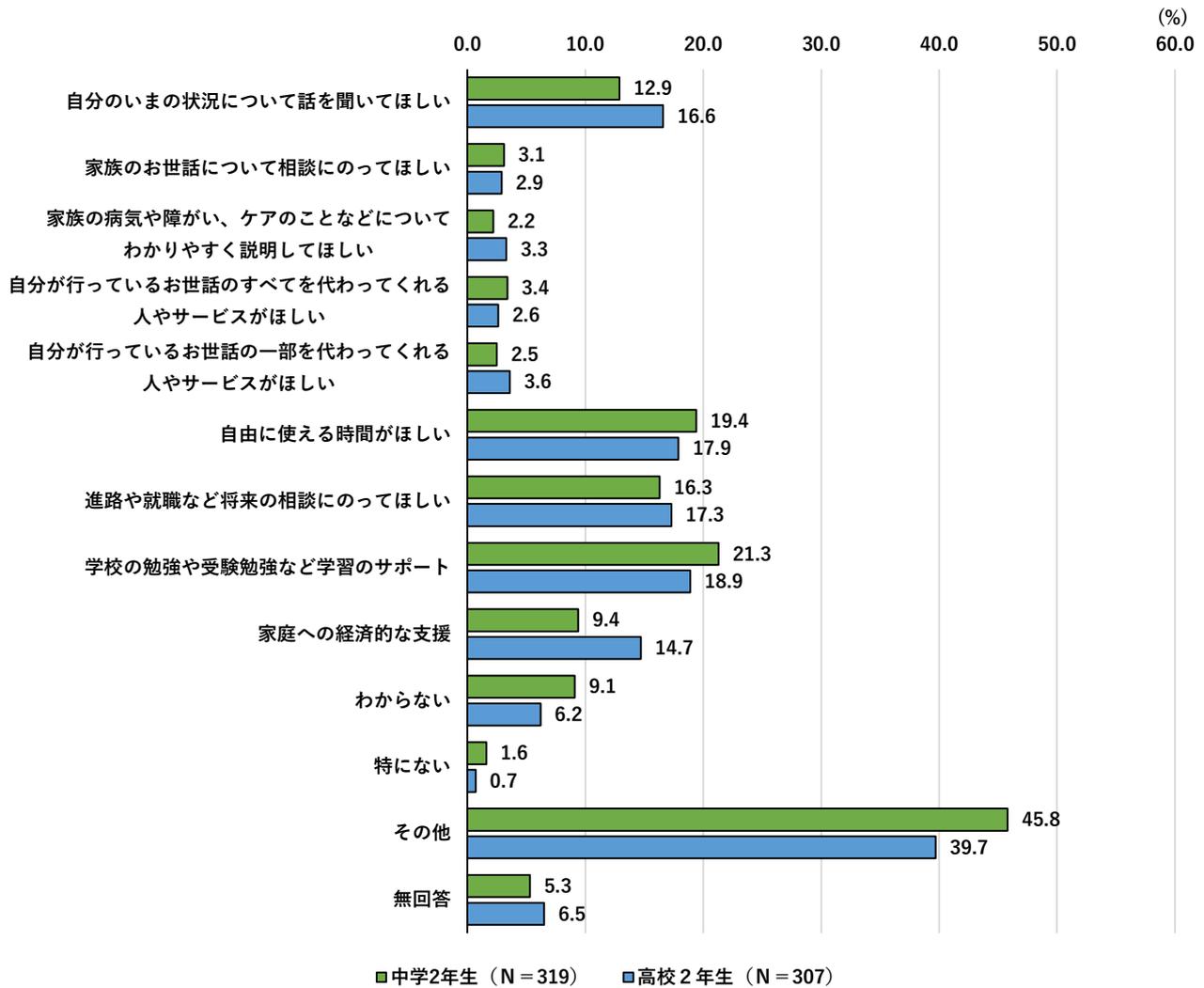


表. 学校や大人にしてもらいたいこと(定時制高校2年生)

	話を聞いてほしい状況について	家族のお世話について相談に	説明などについてわかりやすく	家族の病気や障がい、ケアのサポート	家族の病気や障がい、ケアのサポート	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全国：定時制高校2年生相当 (N=31)	6.5%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	22.6%	12.9%	12.9%	6.5%	9.7%	0.0%	45.2%	19.4%		

(19) 代行を希望する家族の世話 (問 19②) : 自由回答

【問 19-①で「5. 自分が行っているお世話の一部代わってくれる人やサービスがほしい」と回答した方にお聞きします。】

問 19-② 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。(自由記述)

学校や大人にしてもらいたいことについて「自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい」と回答した方に、その内容について聞いたところ、県高校生から「家とスーパーの距離が遠いので、代わりに行ってほしい」との回答が1件あった。

4. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自覚 (問 20)

問 20 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(S A)

ヤングケアラーの自覚について、県中学生では「あてはまる」が1.5% (全国1.8%)、「あてはまらない」が87.6% (全国85.0%)、「わからない」が8.6% (全国12.5%)、県高校生では「あてはまる」が1.3% (全国2.3%)、「あてはまらない」が80.1% (全国80.5%)、「わからない」が15.8% (全国16.3%)であった。

図. ヤングケアラーの自覚(富山県)

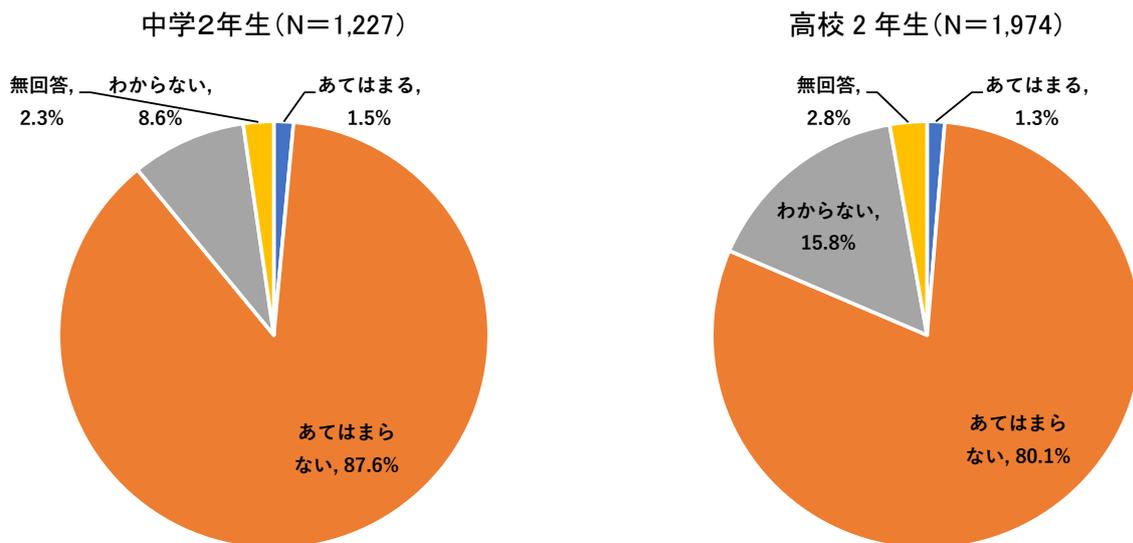


図. ヤングケアラーの自覚(全国)

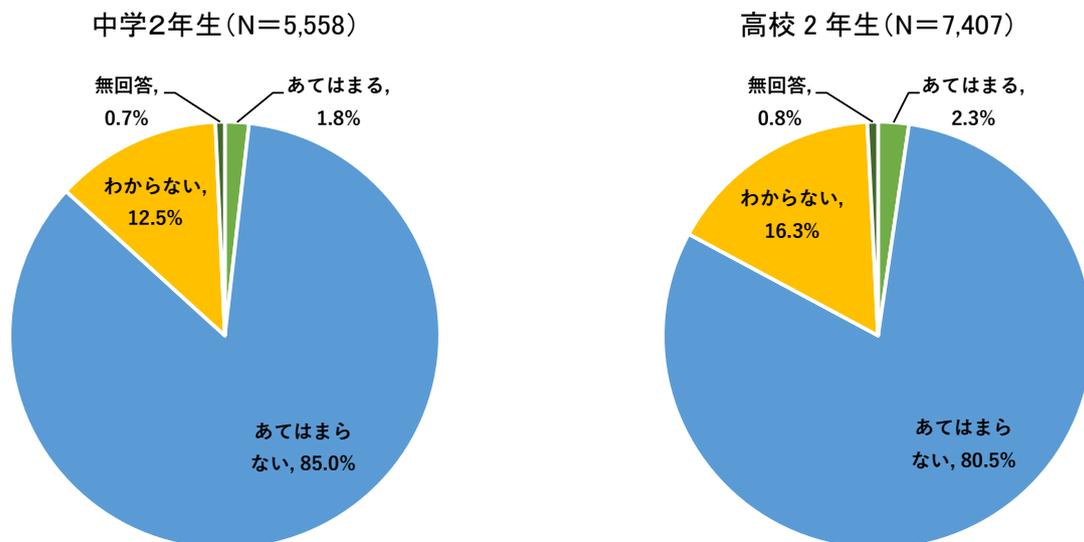


表. ヤングケアラーの自覚(定時制高校2年生)

	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	3.4%	65.5%	27.6%	3.4%
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	4.6%	68.0%	26.8%	0.5%

(2) ヤングケアラーの認知度 (問 21)

問 21 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(S A)

ヤングケアラーの認知度については、県中学生では「聞いたことがあります、内容も知っている」が30.0% (全国6.3%)、「聞いたことはあるが、よくわからない」が22.5% (全国8.8%)、「聞いたことはない」が45.3% (全国84.2%)、県高校生では「聞いたことがあります、内容も知っている」が33.9% (全国5.7%)、「聞いたことはあるが、よくわからない」が17.7% (全国6.9%)、「聞いたことはない」が45.8% (全国86.8%)であった。

図. ヤングケアラーの認知度(富山県)

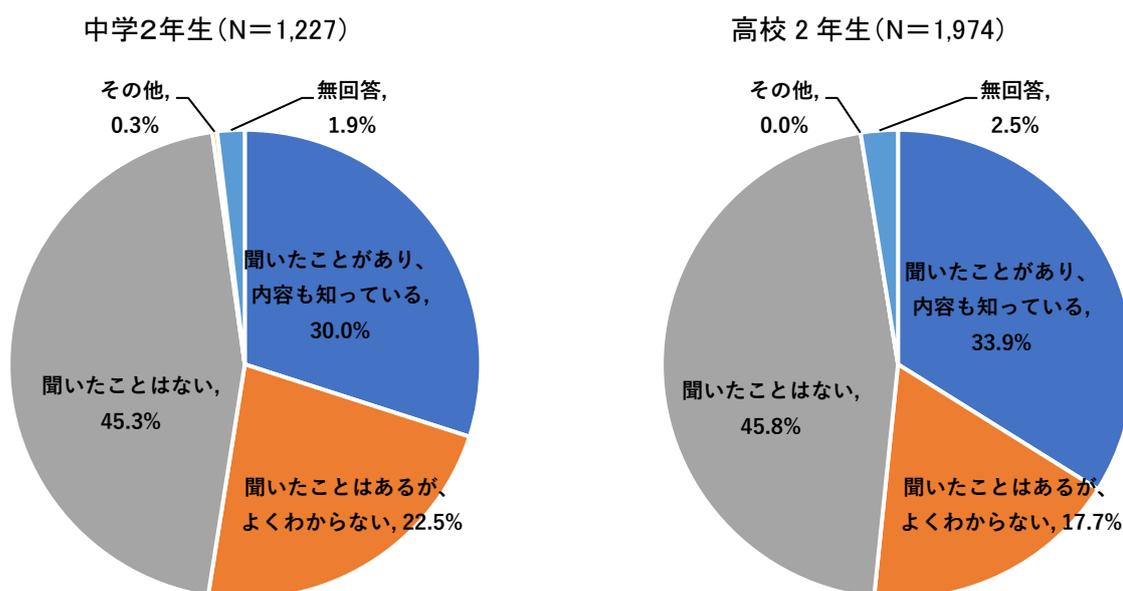


図. ヤングケアラーの認知度(全国) ※全国調査では「その他」の選択肢なし。

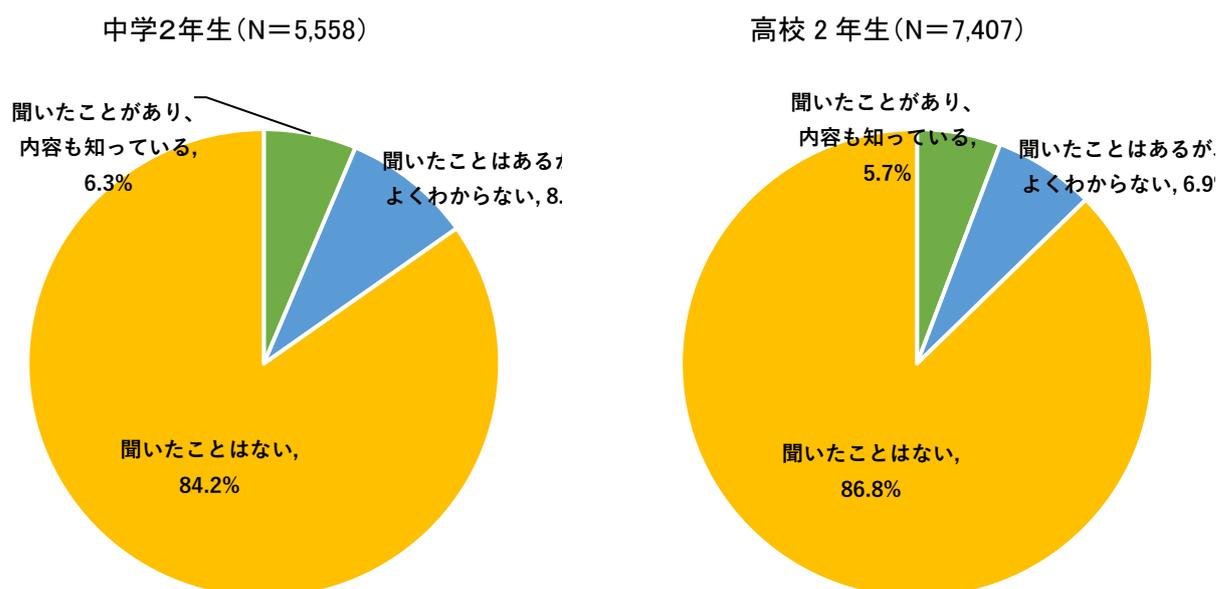


表. ヤングケアラーの認知度(定時制高校2年生)

	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よくわからない	聞いたことはない	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N = 29)	24.1%	31.0%	37.9%	0.0%	6.9%
全 国：定時制高校2年生相当 (N = 366)	6.0%	7.7%	85.5%	-	0.8%

(3) ヤングケアラーの認知経路

【問 21 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。】

問 22. 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(複数選択可)

「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」もしくは「聞いたことはあるが、よくわからない」と回答した方の認知経路は、県中学生、県高校生ともに「テレビや新聞、ラジオ」(75.8%、75.2%) が最も高く、次いで「SNS やインターネット」(24.8%、32.2%) となっている(全国調査も同様に「テレビや新聞、ラジオ」(55.2%、51.2%) が最も高いが、次いで「学校」(27.8%、32.7%) となっている。

図. ヤングケアラーの認知経路(富山県)

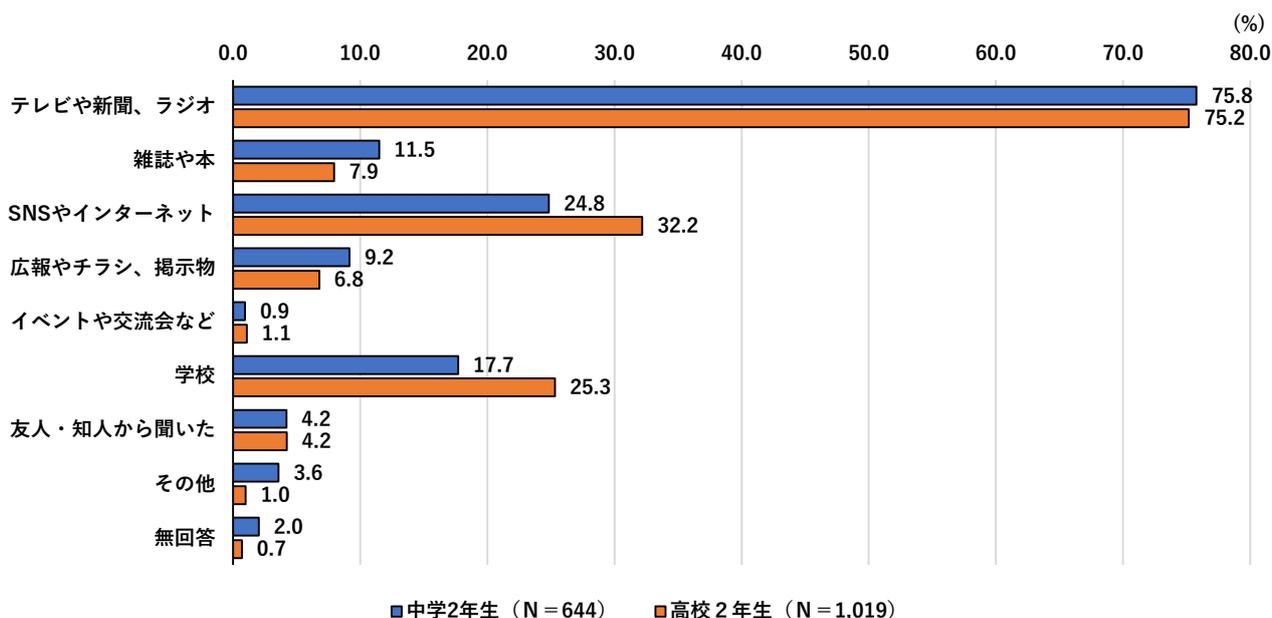


図. ヤングケアラーの認知経路(全国)

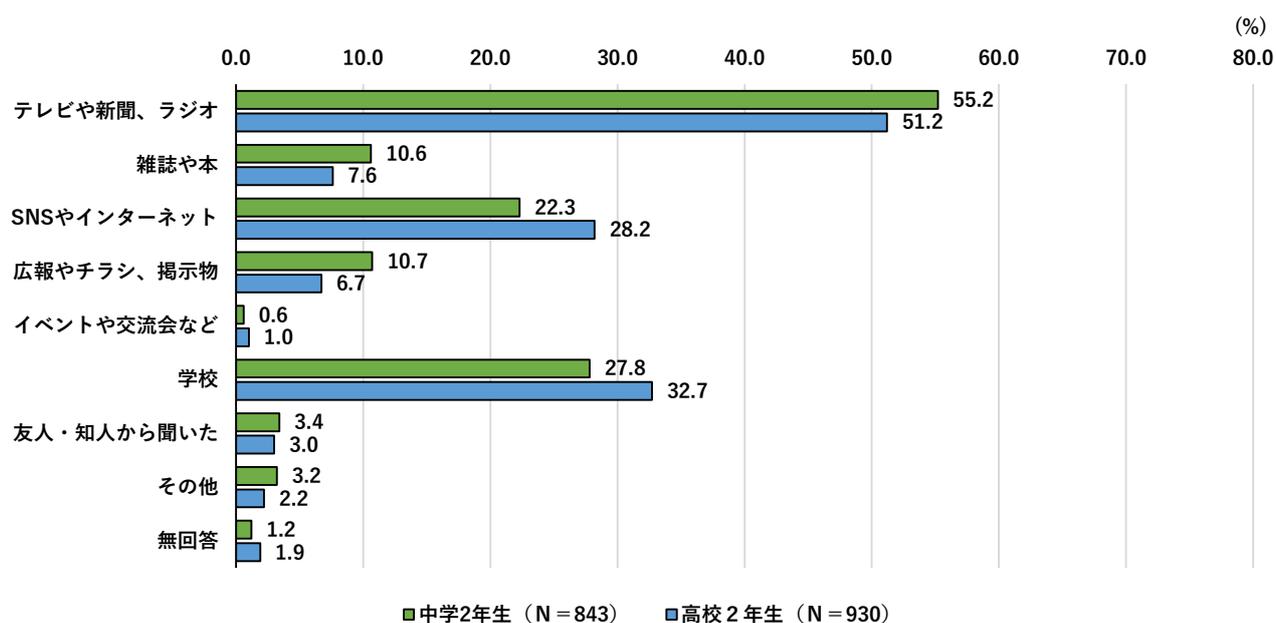


表. ヤングケアラーの認知経路(定時制高校2年生)

	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	その他	無回答
富山県：定時制高校2年生相当 (N=16)	62.5%	12.5%	31.3%	6.3%	0.0%	31.3%	6.3%	0.0%	0.0%
全国：定時制高校2年生相当 (N=50)	34.0%	14.0%	30.0%	4.0%	2.0%	32.0%	4.0%	8.0%	8.0%

(4) ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うこと や要望等 (自由意見)

①学校等での取組み

- ・言葉自体を知らない人が多いため、学校の授業などで取り扱う場を設けるとよいと思う。
- ・自分が初めて知ったように理解が深まっていないのが一番の問題であるので、まず理解力向上に対する取組みが必要と思う。
- ・学校側の勉強や授業の支援が必要と思う。
- ・学校などでヤングケアラーに関する講演会を開催する、その際は、アニメの活用が効果的と思う。

②機会や環境での取組み

- ・介護を必要としているのに、経済的な問題で介護サービスを受けられない人のために自治体が何かしらの取組みを行えばよいと思う。

- ・若い才能を経済的な問題などで潰さないでほしい。
- ・世話の仕方を学びたい。やらなければいけないことだからこそ、世話を効率的にして、負担を減らすために世話の勉強をしたい。
- ・現在ヤングケアラーのことを知っている人はあまりいないと思うので、少しでもヤングケアラーについて広めてほしい。
- ・気付いていなくても知らずにヤングケアラーの人はいると思うので、そういう人がつらい思いをしないよう、ヤングケアラーの知識を自分もつけていきたい。
- ・ネットでの活動配信をもっと増やしていくこと、相談できる場所や気軽に電話できる場所を増やしてほしい。

③支援や給付面

- ・ヤングケアラーになりうる家庭には、訪問介護を無償にするなどして、こどもの負担を減らすことが大切と思う。
- ・ヤングケアラーが該当する家庭では、ヘルパーさんや家政婦さんの利用料金を割引し、その利用を学校でも確認できるようにする。

④感想や意見

- ・自分は、少し前までヤングケアラーで祖父の世話をしていた。祖父は、要介護5の重度の認知症を患っていたが、体は丈夫で、元気な祖父に自分の言っていることを理解してもらえないことがとても辛かった。
- ・もっとヤングケアラーに寄り添ってくれるような社会になってほしい。
- ・ヤングケアラーは、世話をする対象の人がいなくなっても、世話をした過程での傷は今でも癒えない。そんな辛い思いをする人が少しでも減ってほしい。

5. 今後の課題（富山国際大学子ども育成学部 相山 馨教授）

本調査では、富山県内におけるヤングケアラーの実態調査により、ヤングケアラーの認知度を高め、理解を深めるとともに、本県のヤングケアラーの傾向を把握し、今後の施策に反映させることを目的としてアンケート調査を実施した。令和2年度に「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」として、中学生2年生と高校生2年生を対象とした全国調査が初めて行われたが、本調査も対象者を全国調査と同様に県内すべての中学2年生、高校2年生として、全国調査との比較を通して本県のヤングケアラーの生活の状況や家庭、家族の状況について把握するとともに、ヤングケアラーの自覚や認知度について確認することができた。

（1）ヤングケアラーの存在とケアの状況

ヤングケアラーによるケアを必要としている家族が「いる」割合は、中学生では5.5%（18人に1人）、高校生では4.2%（24人に1人）と、クラスで2名程度の生徒が家族のケアをしており、全国調査とほぼ同様の結果であった。この中には、ケアの負担が軽微な場合も含まれていると考えられるが、富山県にも一定の割合でヤングケアラーが存在していることが明らかになった。

ケアの対象者は、全国調査では中高校生ともに「きょうだい」の割合が最も高く、「父母」「祖父母」と続いているのに対し、本県では中学生が「父母」「祖父母」「きょうだい」がいずれも42.6%と同割合で高く、高校生は「父母」が57.3%と最も高い。また、その状態としては「精神疾患・依存症（疑い含む）」が中学生・高校生ともに最も多いという点が本県の特徴である。中高生でありながら、日常の中で親の精神的に不安定な状況に応じたケアやサポートが必要とされる環境で生活することが求められ、精神的な負担が大きい状況にあるといえる。

また、ケアの内容としては、「家事」や「見守り」が上位に挙げられた。これらは毎日のことであるため負担が大きいはずであるが、家族の一員としては当たり前のお手伝いのように感じられることから、「ケアをしている」ことを認識するのは難しいのではないかと考えられる。その他に、本県では「父母」には中学生が「感情面のサポート」を、「祖父母」には高校生が「外出のサポート」や「通院の付き添い」をしている割合が高く、ケアのスキルが必要である場面が多くあると考えられる。世話をしている頻度としては「ほぼ毎日」が最も高く、中学生は32.4%、高校生が39.0%といずれも3割以上を占め、ケアをすることが日常になっているヤングケアラーが一定数いることがわかる。1日のケアの時間は、中高校生ともに「3時間未満」の割合が最も高いものの、「7時間以上」という回答もあり、負担が大きく、ケアによるストレスが生じているケースもあると考えられる。

（2）ケアを担うことによる負担やサポート

世話をしているためにやりたいけれどできないこととしては、全国調査と同様に「特になし」の割合が最も高く、世話の大変さについても「特にきつさを感じていない」が最も高かった。また、「誰かに相談する悩みではない」「相談しても状況が変わるとは思わない」といった理由から、世話について相談した経験がない中学生が7割以上、高校生が5割以上を占めた。

学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援についても、中学生・高校生ともに「特になし」が最も高く、「わからない」が1割程度あった。ケアを担っている子どもは、ケアを担うことによ

る自分自身の負担感に気づくことができない状況であること、また、中高生ともに全国よりも悩みごとを聞いてくれる人がいるという人が著しく少ない状況であることから、他者に相談することもなくケアを抱え込んでしまう可能性があるといえる。さらに、世話を一緒にしている人については、「自分のみ」と答えた中学生は16.2%、高校生は13.4%と全国調査よりも高く、孤立のリスクが高い傾向にあるといえる。その一方で、世話についての相談相手としては、中学生では「家族」が、高校生では「友人」が高く、身近な人に相談していることがうかがえるが、本県の特徴として中高生ともに「学校の先生」が多いことが挙げられる。

ヤングケアラーの早期発見の役割を担えるのは、やはり学校であると考えられる。大人に助けてほしいことや必要としている支援として、中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」があり、高校生では「自由に使える時間がほしい」「家庭への経済的支援」があり、全国調査とほぼ同様の結果であった。

(3) ヤングケアラーの自覚と認知度

ヤングケアラーの自覚について、自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した中学生の割合は1.5%、高校生は1.3%と低く、「あてはまらない」と答えた中学生は87.6%、高校生は80.1%と全国調査と大きな差はみられなかった。

ヤングケアラーの認知度では、ヤングケアラーという言葉を知ったことがある中学生は52.5%、高校生は51.6%であり、2年前の全国調査と比較すると大幅に増加しているが、45%以上の中高生はヤングケアラーという言葉を知ったことがないという状況にある。

中高生がヤングケアラーに対する正しい理解を進めるためには、学校の中で丁寧に伝えていくことや、周りの大人がヤングケアラーへの理解を深め、サポートできる環境を整えていく必要がある。

(4) ヤングケアラー支援に向けて

子どもがケアを担う背景には、家庭の経済状況の変化、共働き世帯の増加、少子高齢化、地域のつながりの希薄化などからくる地域力の低下、子どもの貧困といった様々な社会的要因がある。このような中、要介護者や障害者、精神疾患患者等のケアを必要とする人が増加しており、誰でもケアラーになる可能性がある社会となった。しかし、その一方で、家族の状況によって、大人がケアを担いきれない状況も生じている。家族の中に、ケアを必要とする人がいる場合、それをサポートする大人がいない場合、子どもがケアを担わざるを得なくなる。ヤングケアラーはその家族が抱えているケアに関する問題が背景にある。

本調査からみえてきたヤングケアラーの実態としては、①精神的な負担が大きいケアを担っていること、②ケアのスキルが必要な状況であること、③自分自身の負担感に気づかず、ケアを抱え込んでしまう状況があること、④孤立のリスクが高い傾向にあることが挙げられる。

ヤングケアラーにとっては、家族の手伝い・手助けをすることは普通のことだと思っていたり、心や身体に不調を感じて生活に影響が出るほどの重い負担がかかっていることに気づけなかったりするため表面化しにくい。また、自分のことや家庭内のことを話すには、関係性ができていない状況では伝えることは難しい。

ヤングケアラーへの支援を行うにあたって、まず個別の支援としては、教育をはじめとして、福祉、介護、医療等といった様々な分野が連携し、アウトリーチにより潜在化しがちなヤングケアラーを早期に発見することが重要である。そして、子どもの気持ちに寄り添い、本人の話を聴き、関係をつくっていきながら、関係機関・団体などが連携し、切れ目のない支援を行うことが大切である。また、周囲の理解を広げていくために、関係機関の専門職や地域住民がヤングケアラーについての理解を深め、社会全体で子どもの権利を護ることが重要である。今後は地域におけるヤングケアラーの支援体制を整備するとともに、効果的な支援方法の共有を進めていく必要がある。

Ⅲ. 参考資料

1. 調査票

本調査は、Google フォームによるWeb回答のみで実施した。

中高生の生活実態に関するアンケート調査

(「*」は回答必須設問)

I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまるものを選択してください) *

1. 中学2年生 2. 高校2年生 3. 定時制高校2年生相当

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを選択してください) *

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

問3 あなたの住んでいる市町村について教えてください。(あてはまるものを選択してください) *

1. 朝日町 2. 入善町 3. 黒部市
4. 魚津市 5. 滑川市 6. 上市町
7. 立山町 8. 舟橋村 9. 富山市
10. 射水市 11. 高岡市 12. 氷見市
13. 砺波市 14. 南砺市 15. 小矢部市

問4① 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(複数選択可)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母
4. 祖父 5. 兄・姉 6. 弟・妹
7. その他

問4② 問4①で「5. 兄・姉」「6. 弟・妹」と回答した方にお聞きします。何人ですか。(あてはまるものを選択してください)

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人 6. 6人
7. 7人以上

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまるものを選択してください)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう
4. あまりよくない 5. よくない

Ⅱ. ふだんの生活についてお伺いします。

問6 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまるものを選択してください)

① 出席状況

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

② 遅刻や早退の状況

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問7 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまるものを選択してください)

1. 参加している 2. 参加していない

問8 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(複数選択可)

1. 授業中に居眠りすることが多い 2. 宿題や課題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い 4. 部活動や習い事を休むことが多い
5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い 6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い 8. 学校では1人で過ごすことが多い
9. 友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない 10. 特にない

問9 現在、悩んだり困っていることはありますか。(複数選択可)

1. 友人との関係のこと 2. 学業成績のこと
3. 進路のこと 4. 部活動のこと
5. 学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと 6. 塾(通信含む)や習い事ができない
7. 家庭の経済的状況のこと 8. 自分と家族との関係のこと
9. 家族内の人間関係のこと(両親の中が良くないなど) 10. 病気や障害のある家族のこと
11. 自分のために使える時間が少ない 12. 特にない ⇒ 問11へ
13. その他

問10 問9で「12. 特にない」と回答した方以外にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまるものを選択してください)

1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる 2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話はしたくない

問 12②-4 問 12①で「4. 祖父」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている方の状況について教えてください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 高齢 (65 歳以上) | 2. 要介護 (介護が必要な状態) |
| 3. 認知症 | 4. 身体障がい |
| 5. 知的障がい | 6. 精神疾患 (疑い含む) |
| 7. 依存症(アルコール依存症やギャンブル依存症など) (疑い含む) | 8. 6・7以外の病気 |
| 9. その他 | |

問 12②-5 問 12①で「5. きょうだい」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている方の状況について教えてください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 若い | 2. 要介護 (介護が必要な状態) |
| 3. 認知症 | 4. 身体障がい |
| 5. 知的障がい | 6. 精神疾患 (疑い含む) |
| 7. 依存症(アルコール依存症やギャンブル依存症など) (疑い含む) | 8. 6・7以外の病気 |
| 9. その他 | |

問 12②-6 問 12①で「6. その他」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている方の状況について教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 高齢 (65 歳以上) | 2. 若い |
| 3. 要介護 (介護が必要な状態) | 4. 認知症 |
| 5. 身体障がい | 6. 知的障がい |
| 7. 精神疾患 (疑い含む) | 8. 依存症(アルコール依存症やギャンブル依存症など) (疑い含む) |
| 9. 7・8以外の病気 | 10. その他 |

問 12③-1 問 12①で「1. 母親」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除・洗濯) | 2. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など) |
| 3. 外出の付き添い (買い物・散歩など) | 4. 通院の付き添い |
| 5. 感情面のサポート (愚痴を聞く・話し相手になるなど) | 6. 見守り |
| 7. 通訳 (日本語や手話など) | 8. 金銭管理 |
| 9. 薬の管理 | 10. その他 |

問 12③-2 問 12①で「2. 父親」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 家事（食事の準備や掃除・洗濯） | 2. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） |
| 3. 外出の付き添い（買い物・散歩など） | 4. 通院の付き添い |
| 5. 感情面のサポート（愚痴を聞く・話し相手によるなど） | 6. 見守り |
| 7. 通訳（日本語や手話など） | 8. 金銭管理 |
| 9. 薬の管理 | 10. その他 |

問 12③-3 問 12①で「3. 祖母」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 家事（食事の準備や掃除・洗濯） | 2. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） |
| 3. 外出の付き添い（買い物・散歩など） | 4. 通院の付き添い |
| 5. 感情面のサポート（愚痴を聞く・話し相手によるなど） | 6. 見守り |
| 7. 通訳（日本語や手話など） | 8. 金銭管理 |
| 9. 薬の管理 | 10. その他 |

問 12③-4 問 12①で「4. 祖父」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 家事（食事の準備や掃除・洗濯） | 2. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） |
| 3. 外出の付き添い（買い物・散歩など） | 4. 通院の付き添い |
| 5. 感情面のサポート（愚痴を聞く・話し相手によるなど） | 6. 見守り |
| 7. 通訳（日本語や手話など） | 8. 金銭管理 |
| 9. 薬の管理 | 10. その他 |

問 12③-5 問 12①で「5. きょうだい」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 家事（食事の準備や掃除・洗濯） | 2. きょうだいの世話や保育所などへの送迎 |
| 3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など） | 4. 外出の付き添い（買い物・散歩など） |
| 5. 通院の付き添い | 6. 感情面のサポート（愚痴を聞く・話し相手によるなど） |
| 7. 見守り | 8. 通訳（日本語や手話など） |
| 9. 金銭管理 | 10. 薬の管理 |
| 11. その他 | |

問 12③-6 問 12①で「6. その他」と回答した方にお聞きします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除・洗濯) | 2. きょうだいの世話や保育所などへの送迎 |
| 3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など) | 4. 外出の付き添い (買い物・散歩など) |
| 5. 通院の付き添い | 6. 感情面のサポート (愚痴を聞く・話し相手によるなど) |
| 7. 見守り | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 9. 金銭管理 | 10. 薬の管理 |
| 11. その他 | |

★ 以下は、お世話を必要としている方が複数いる場合も、それぞれの方ごとではなく、一括でお答えください。

問 12④ お世話は誰と行っていますか。(複数選択可)

- | | | |
|---------|------------------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 |
| 4. 祖父 | 5. きょうだい | 6. 親戚の人 |
| 7. 自分のみ | 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用 | 9. その他 |

問 12⑤ お世話はいつごろから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)(あてはまるものを選択してください)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 小学1年生 | 2. 小学2年生 | 3. 小学3年生 |
| 4. 小学4年生 | 5. 小学5年生 | 6. 小学6年生 |
| 7. 中学1年生 | 8. 中学1年生 | 9. 中学1年生 |
| 10. 高校1年生 | 11. 高校2年生 | |

問 12⑥ お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまるものを選択してください)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～5日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 1ヶ月に数日 | 5. その他 | 6. 小学6年生 |
| 7. 中学1年生 | 8. 中学1年生 | 9. 中学1年生 |
| 10. 高校1年生 | 11. 高校2年生 | |

問 12-⑦ 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください)

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1時間 | 3. 2時間 |
| 4. 3時間 | 5. 4時間 | 6. 5時間 |
| 7. 6時間 | 8. 7時間 | 9. 8時間 |
| 10. 9時間以上 | 11. 10時間以上 | |

問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 学校に行きたくても行けない | 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう |
| 3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 4. 睡眠が十分に取れない |
| 5. 友人と遊ぶことができない | 6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった |
| 7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した | 8. 自分の時間が取れない |
| 9. 特にない | 10. その他 |

問14 お世話をすることにきつさを感じていますか。(複数選択可)

- | | | |
|---------|----------------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 |
| 4. 祖父 | 5. きょうだい | 6. 親戚の人 |
| 7. 自分のみ | 8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用 | 9. その他 |

問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまるものを選択してください)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問16 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい） | 2. 親戚（おじ、おばなど） |
| 3. 友人 | 4. 学校の先生（保健室の先生以外） |
| 5. 保健室の先生 | 6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー |
| 7. 医師や看護師の他病院の人 | 8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人 |
| 9. 役所や保健センターの人 | 10. 近所の人 |
| 11. SNS 上での知り合い | 12. その他 |

問17 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 誰かに相談するほどの悩みではない | 2. 家族外の人に相談するような悩みではない |
| 3. 誰に相談するのがよいかわからない | 4. 相談できる人が身近にいない |
| 5. 家族の事のため話しにくい | 6. 家族のことを知られたくない |
| 7. 家族に対して偏見を持たれたくない | 8. 相談しても状況が変わると思わない |
| 9. その他 | |

問18 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまるものを選択してください)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問19① 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(複数選択可)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい | 2. 家族のお世話について相談にのってほしい |
| 3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい | 4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい |
| 5. 自分が行っているお世話の一部代わってくれる人やサービスがほしい⇒問19②へ | 6. 自由に使える時間がほしい |
| 7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい | 8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート |
| 9. 家庭への経済的な支援 | 10. わからない |
| 11. 特になし | 12. その他 |

問19② 問19①で「5. 自分が行っているお世話の一部代わってくれる人やサービスがほしい」と回答した方にお聞きします。具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。(自由記述)

